



特定非営利活動法人
八王子市民活動協議会

令和5年度 通常総会
議案書

日時 令和5年5月21日(日)
午後2時～3時30分

会場 西武信用金庫八王子支店 2階会議室

令和5年度八王子市民活動協議会総会議案書 目次

第1号議案 令和4年度事業報告の件

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

【令和4年度を振り返って】	1
【1】八王子市民活動協議会の運営組織	1
【2】支援センター事業	2
【3】はちおうじ志民塾(八王子市からの委託事業)	21
【4】協議会自主事業	
1. 事務局(総務)	22
2. 広報部	23
3. 交流推進部	24
4. 地域ネット部	25
5. 女性・若者・シニア創業サポート事業	26
6. 政策研究企画部	26
7. 協議会創立20周年記念誌編集委員会	27
8. 私の地元応援ファンド助成事業	27
9. 八王子市学園都市大学(いちょう塾)への講座提供	28

第2号議案 令和4年度活動決算の件

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

1. 活動計算書	29
2. 事業別収支状況	30
3. 貸借対照表・財産目録	31
4. 令和4年度(2022年度)予算決算比較表	32
5. 令和4年度監査報告書	33

第3号議案 令和5年度事業計画の件

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

【令和5年度の基本方針】	34
【1】八王子市民活動協議会の運営組織	34
【2】支援センター事業	34
【3】はちおうじ志民塾(八王子市からの委託事業)	41
【4】協議会自主事業	42

第4号議案 令和5年度活動予算の件

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

1. 令和5年度(2023年度)予算表	44
---------------------	----

(参考資料)

令和5年利用者満足度調査	45
八王子市民活動協議会組織図	53
役員名簿	54

第 1 号議案 令和 4 年度事業報告の件

(令和 4 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日)

【令和 4 年度を振り返って】

令和 4 年 11 月に八王子市民活動協議会は創立 20 周年を迎えました。この間、地域に根差して活動を継続できたのも、会員の皆さまはじめ関係諸機関、市民活動に携わる方々のご協力のおかげです。

4 年度は、コロナ禍が収束する兆しが見え始めたものの、夏にはこれまで最大の第 8 波が押し寄せ、なかなか計画通りに事業が進まないこともありましたが、11 月のいちよう祭り「わくわく広場」は 3 年ぶりに開催すること出来ました。また、3 月に行われた「地域デビューパーティー 802」にはこれまでで最高数の 350 名以上の参加者が集まりました。特に 11 月 3 日に開催した「はちおうじ NPO フェスティバル」は、オープン間もない「東京たま未来メッセ」を会場に、65 団体が 80 ブースを満杯にして、広い展示会場は 2,900 名以上の来場者で賑わい、八王子の市民活動を大いに発信することが出来ました。

コロナ禍で滞っていた対面での活動に戻ることは大変嬉しいことですが、私たちはこの経験で沢山の知識や方法を学びました。このことを活かしながら、新しいことに挑戦してきたコロナ禍の 3 年間でしたが、スタンダードな活動も守りつつ 4 年度も新しいことに挑戦し、八王子の市民活動の応援をして参りました。

【1】八王子市民活動協議会の運営組織

1. 理事会

①定例理事会:原則毎月第 4 火曜日午後 5 時から開催

協議会の運営についての基本的事項、重要事項の検討や報告を行いました。

令和 4 年度は定例理事会を 11 回開催しました。

②特別な審議事項や理事から開催要請があった場合に臨時理事会を開催します。

4 年度は 1 回開催しました。

③4 年度は新理事が加入した年度なので、規程集の説明、個人情報保護規定の勉強会を行いました。

2. 三役会

理事長、副理事長、事務局長、各事業部会担当長、支援センター長、その他都度理事長が議題検討に必要な人を指名して行います。

令和 4 年度は、原則毎月第 2 火曜日に、主に理事長、副理事長(3 名)、事務局長で理事会付託の議案について討議することが主でした。

3. 企画運営会議の開催

4 年度は四半期に一度実施されるモニタリングの結果に基づき、主に三役で行いました。2 月には令和 5 年度のセンター年次計画を検討するために、三役に加え理事も含めて開催し、センターの次年度計画について意見を出し合いました。

4. 情報セキュリティ委員会

センター、協議会の双方の情報セキュリティ強化のためにそれぞれ組織しています。4 年度はまず、センターの情報セキュリティマニュアルを見直し、監査を経て改訂しました。今後これに準じた協議会版も作成する予定です。

【2】支援センター事業

支援センター事業令和4年度を振り返って（概況）

令和4年度は引き続きコロナ禍の中、夏に大きな第8波があり、イベントやセミナーにも影響がありましたが、開館時間に関しては令和2年度以来3年ぶりに年を通して平常で運営できました。新型コロナウイルス感染症感染防止の措置を十分に考慮した開館でしたが、コロナ禍も3年に渡り、ウィズコロナが浸透したのか利用者の協力もあり大きな混乱もなく施設運営ができました。少しずつ活動も元にもどる予兆が見えた令和4年度でした。

そのようななかで、コロナで活動に苦慮する市民や活動団体の支援になるような講座、イベントを多く取り入れました。令和2年度には1回だった支援講座を3年度には8回、4年度には10回実施し、密を避けるために1回あたりの定員を少なくし回数を増やして今必要な支援となる講座にしました。また回数を増やすことによる事業費を抑えるために、講師は外部からではなくスタッフが行う、会場は支援センターを使うなどの工夫をするなど、活動団体に直接、迅速に伝わるサポート事業を心がけた一年でした。

また、コロナ禍だからこそ、各団体の活動紹介、市民活動の啓発、発信にも力をいれました。コロナ禍で一層需要が増大したYouTubeを使い市民活動情報発信番組を企画するなど、新しいことにもチャレンジしました。

長引くコロナ禍ではありますが、ビジョン「私たち一人ひとりがつながって、夢をカタチにできる八王子」の実現を目指して、スタッフ一同「社会課題と市民・団体の力をつなぎ、市民が社会貢献活動に参加し、NPO・市民活動団体がチカラを発揮できるよう、さまざまな事業を通じ支援するような企画を行いました。

1. 市民活動の促進のための施設の提供に関する事業

(1) 施設利用状況

交流室	活性化室	フリースペース	コピー機	印刷機	面談相談	来所他	電話相談	電話他	メール相談
786	753	1142	237	63	164	332	47	1408	4
685	606	624	126	72	122	150	42	1207	1

上段:令和4年度、下段:令和3年度

開館時間に制限があった令和3年度に比べて4年度は開館時間が通常の21時に戻ったこともあり、夜間の利用分も増加しました。3年度に比べてウィズコロナの対応にも慣れてきたこともあり、利用は3年度に比べて全体的に著しい増加となりました。特にフリースペースの利用は約2倍近くとなり、直接対面形式の相談も例年になく増加しています。月別では、やはり第8波の7～9月など新型コロナウイルス感染症感染者が増加した月は利用も減少傾向でした。

会議室利用状況(年間)

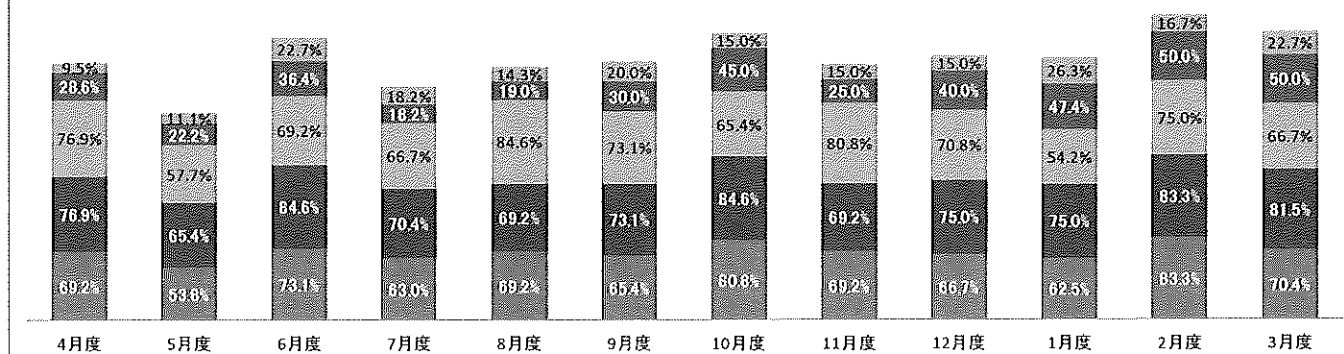
月	コピー機	印刷機	面談相談	来所他	フリースペース	電話相談	電話他	メール相談	活性化室	月間総日数(A)	利用可能区分会議室に活用可能(B)	会議室利用数(C)	会議室利用率(C/B)	センター利用日数(D)	センター利用率(D/A-D)	利用日数率(E/A)	利用団体数	利用者数
4月度	7	5	11	5	13	1	114	0	68	26	120	66	55.0%	1	25	96.2%	30	436
5月度	14	8	23	79	120	13	234	1	57	26	114	52	45.6%	1	25	96.2%	27	329
6月度	25	8	21	32	97	11	109	2	67	26	122	72	59.0%	1	25	96.2%	36	507
7月度	21	8	7	24	57	0	108	0	63	27	125	62	49.6%	1	26	96.3%	30	413
8月度	14	2	20	12	54	0	81	0	54	26	120	65	54.2%	1	25	96.2%	28	448
9月度	27	4	18	11	81	10	80	0	55	26	118	65	55.1%	1	25	96.2%	32	465
10月度	25	7	4	19	107	1	146	0	71	26	118	72	61.0%	0	26	100.0%	20	488
11月度	20	5	10	20	105	3	135	0	66	26	118	65	55.1%	0	26	100.0%	21	451
12月度	16	5	15	22	89	2	89	0	52	24	112	62	55.4%	1	23	95.8%	29	424
1月度	23	4	9	41	130	2	106	0	55	24	110	60	54.5%	1	23	95.8%	33	395
2月度	25	3	14	35	161	2	105	0	71	24	108	70	64.8%	0	24	100.0%	30	486
3月度	20	4	12	32	128	2	101	1	74	27	125	75	60.0%	1	26	96.3%	37	470
計	237	63	164	332	1142	47	1408	4	753	308	1410	786	55.7%	9	299	97.1%	353	5312

会議室利用状況(時間帯別)

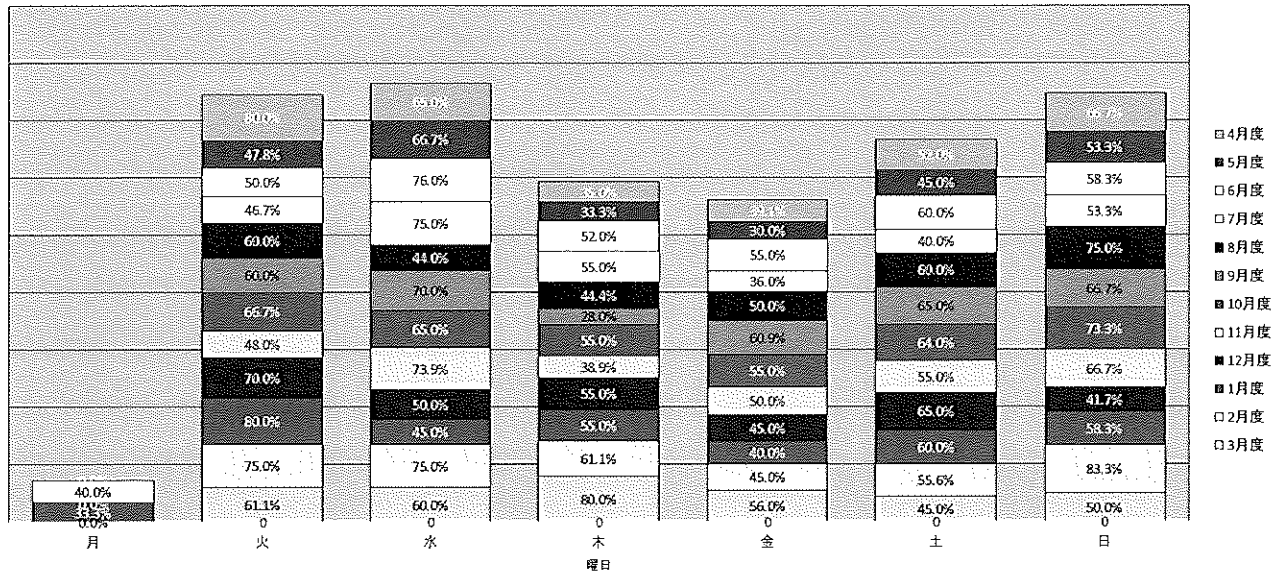
区分	10-12			13-15			15-17			17-19			19-21			全区分小計		月
月	利用 こま数	利用可 能こま数	利用率	利用 こま数	利用可 能こま数	利用率	利用 こま数	利用可 能こま数	利用率	利用 こま数	利用可 能こま数	利用率	利用 こま数	利用可 能こま数	利用率	利用 こま数 小計	利用可 能こま数 小計	
4月度	18	26	69.2%	20	26	76.9%	20	26	76.9%	6	21	28.6%	2	21	9.5%	66	120	4月度
5月度	14	26	53.8%	17	26	65.4%	15	26	57.7%	4	18	22.2%	2	18	11.1%	52	114	5月度
6月度	19	26	73.1%	22	26	84.6%	18	26	69.2%	8	22	36.4%	5	22	22.7%	72	122	6月度
7月度	17	27	63.0%	19	27	70.4%	18	27	66.7%	4	22	18.2%	4	22	18.2%	62	125	7月度
8月度	18	26	69.2%	18	26	69.2%	22	26	84.6%	4	21	19.0%	3	21	14.3%	65	120	8月度
9月度	17	26	65.4%	19	26	73.1%	19	26	73.1%	6	20	30.0%	4	20	20.0%	65	118	9月度
10月度	21	26	80.8%	22	26	84.6%	17	26	65.4%	9	20	45.0%	3	20	15.0%	72	118	10月度
11月度	18	26	69.2%	18	26	69.2%	21	26	80.8%	5	20	25.0%	3	20	15.0%	65	118	11月度
12月度	16	24	66.7%	18	24	75.0%	17	24	70.8%	8	20	40.0%	3	20	15.0%	62	112	12月度
1月度	15	24	62.5%	18	24	75.0%	13	24	54.2%	9	19	47.4%	5	19	26.3%	60	110	1月度
2月度	20	24	83.3%	20	24	83.3%	18	24	75.0%	9	18	50.0%	3	18	16.7%	70	108	2月度
3月度	19	27	70.4%	22	27	81.5%	18	27	66.7%	11	22	50.0%	5	22	22.7%	75	125	3月度
計	212	308	68.8%	233	308	75.6%	216	308	70.1%	83	243	34.2%	42	243	17.3%	786	1410	計

会議室利用率(時間別利用率)

■ 10-12 ■ 13-15 ■ 15-17 ■ 17-19 ■ 19-21

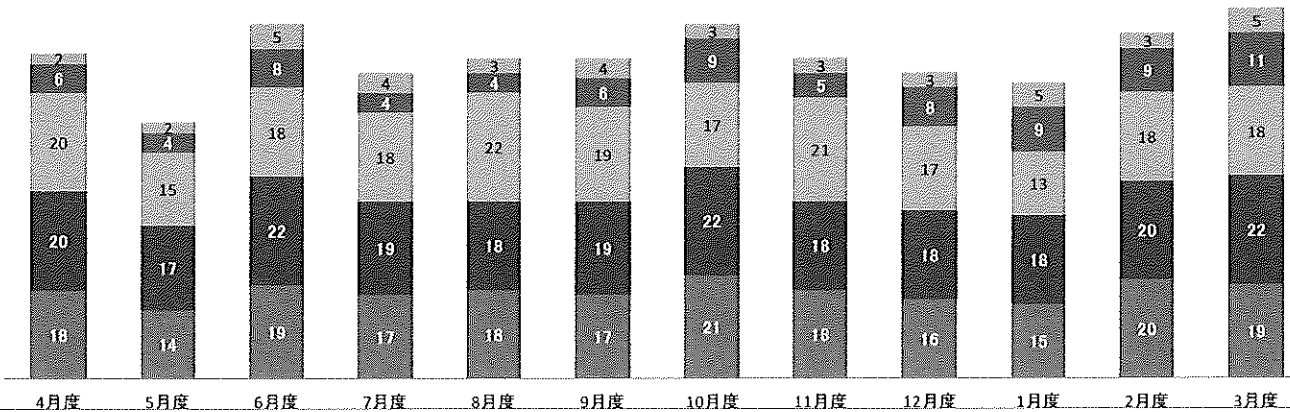


会議室利用状況(曜日別)

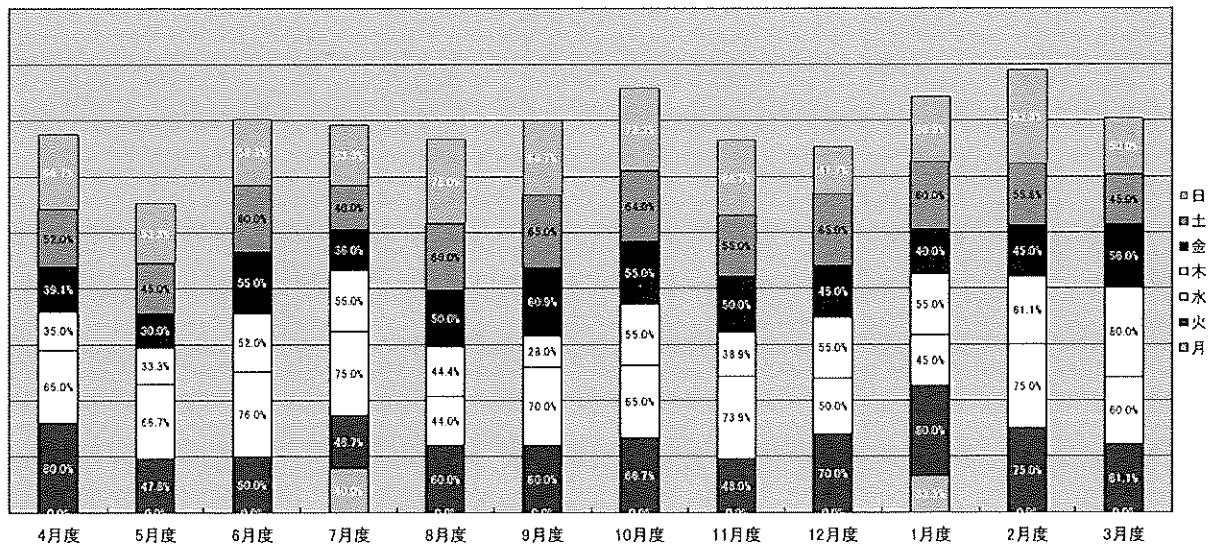


会議室利用状況(時間別コマ数)

■ 10-12 ■ 13-15 ■ 15-17 ■ 17-19 ■ 19-21



会議室利用状況(曜日別)



(2) 市民活動を支援する環境づくり

令和4年度は新型コロナウイルス感染症予防の対策をとりつつも、開館時間は通常に戻り、利用者也3年度に比べると大幅に増加しました。それに伴い利用者がより安全に気持ちよく利用できる空間づくりを心掛けました。

また、市民活動団体の情報を取りやすくするために、チラシラックやカウンターラックを整えるとともに、自由に情報を検索できるようにするため、フリースペース内に貸し出しパソコンを設置しました。

館内掲示に関しては、季節を感じるディスプレイにするなど、利用が楽しく居心地よくなる工夫を施しています。

【課題と評価】

令和4年度は3年度に比べ、利用者数の増加にともない市民活動支援センターも活気を取り戻した年でした。利用者満足度調査の結果として、センター利用の多くは会議室利用ですが会議室利用の満足度は97.5%、フリースペース利用の満足度も99%と高い評価を受けました。特に評価すべきは、スタッフの対応への満足度が99.5%ということです。今後も利用する方々に、満足してもらえるセンター環境をつくるとともに、職員も、市民活動支援するに必要な能力や経験を研鑽していきます。

2. 市民活動を行う者、市民、事業者、市及び地域の相互の連携並びに交流の促進に関する事業（地域・団体連携交流事業）

(1) はちおうじNPOフェスティバル

八王子で活動するNPOを紹介・発信して八王子の市民活動を知ってもらおうと同時に、市民との交流の場として多くの市民に市民活動に興味をもってもらうために毎年開催しています。

日時	テーマ・内容	参加者	会場
11月3日 (木・祝)	はちおうじNPOファスティブアル2022 ～八王子で活躍する市民活動団体が大集合！ 魅力あふれるNPOの活動にふれよう！～ ・展示 ・体験(ワークショップ) ・物販 ・フードトラック ・ステージパフォーマンス (第1・第2ステージ合わせて23プログラム)	65団体 約2,900名	東京たま未来メッセ展示場

【課題と評価】

令和4年10月にオープンしたばかりの東京都立多摩産業交流センター「東京たま未来メッセ」にて開催しました。新しく大きな天候に左右されない会場は出展参加団体、来場者ともに好評で、関係者を含めて2,900名以上の参加者で賑わいました。用意した70のブースはすべて埋まり、2つのステージでのパフォーマンスも好評でした。NPOフェスティバルの名前のとおり、NPO(市民活動)団体のお祭りとして、団体も市民もともに一日楽しんで交流できた会となりました。また、多くの学生ボランティアが参加し手伝ってくれたことは、若い世代に市民活動に興味をもってもらう契機になったと思います。

課題としては、①会場の費用が高額であること、②2つのステージの音が交錯して騒々しいとの苦情や感想が寄せられたことは今後開催の参考にしたいと思います。

(2) 交流会

協働の場づくりのための市民活動団体の交流会は、団体同士の横の連携だけでなく、行政や公共的性質を持った組織にも呼び掛け、興味のある市民も募り、テーマ別・分野別等の様々な視点から開催しています。

2022 年度は交流会をテーマ別(子育て・まちづくり・中高生地域参加・SDGs de 地域連携・共生社会)に 5 回開催しました。開催内容は以下の通りです。

日時	テーマ・内 容	参加者	会場
7 月 10 日 (日)	子育てをみんなで支えるまちづくり 子育て分野交流会 ・多世代(30～80 代 ・「交流会のおかげでつながった方々とコラボ企画ができた」、 「交流会がきっかけに活動をはじめた」、「同じ地域の団体と繋がって、一緒に活動している」との報告があった。	34 名	学園都市センター ギャラリーホール
8 月 4 日 (木)	みんなで考えるまちづくり 当初計画した八王子市内の中高生による政策コンテストは新型コロナウイルス感染症感染者急増のために延期とした。 そのため、10 月に延期した「中高生のまちづくりアイデアコンテスト」のプレイベント的な位置づけとして、過去の地方創生アイデアコンテストで評価が高かった中高生の提案をインターネット視聴し、その後、八王子のまちづくりをみんなで考える交流会とした。	17 名	学園都市センター ギャラリーホール
10 月 2 日 (日)	中高生によるまちづくりアイデアコンテスト ・聖パウロ高等学校ハンドベルクワイアの皆さんからの提案 ・参加の市民、企業、市議などからアドバイス ・意見交換	15 名	八王子市市民活動 支援センター会議 室
2 月 19 日 (日)	SDGs でまちづくり&地域連携交流会 SDGs カードゲームを通してまちづくり・地域連携を考える ・小学生～80 代までの多世代が参加 ・「SDGs de 地方創生」カードゲームを通して、まちづくり・地域連携を肌で体験できる、自分たちの行動によって未来のまちはどうなるのかをシミュレーションする	24 名	子安市民センター 第1・2 会議室
3 月 18 日 (土)	誰でもできるニュースポーツを体験し、インクルーシブな社会を考える ・簡単で、子供や高齢者や障がいのある人でも誰でもできるニュースポーツを一緒にすることを通じてインクルーシブな社会を考えるきっかけとする	31 名	子安市民センター 体育室

【課題と評価】

・1年を通して、参加者数は121名、交流会をきっかけにつながった団体数(事後報告)21団体、交流会をきっかけにセンターを知った方、市民活動に興味を持っていただいた方、センターに団体登録していただいた団体2団体、交流会をきっかけに参加団体に加入した一般参加者5名がいて、協働の場、連携の場づくりとして

良い結果を出すことができました。

・毎回のアンケートの結果で、「とても良かった・良かった」が全体の 96%を超え、「ぜひまたやってほしい」、「参加して良かった」などのコメントをいただき、参加者にとって、満足のいく内容だったと思います。市民や団体が連携のきっかけを求めていることがわかりました。

(3) センター1 日出張

日時	テーマ・内容	参加者	会場
5 月 17 日 (火)	東部地区 出張市民活動支援センター 担当: 力石・上野・堤と旗野 ・はちコミねっと(リニューアル)の説明 ・ゆめおりファンドの紹介、相談 ・支援センター事業紹介 ・相談 ・地域連携	・はちコミねっと関係: 7 件 ・ファンド関係: 4 件 ・支援センター事業紹介: 1 名 ・相談: 3 名 団体設立 1 名 組織関係 1 名 活動関係 1 名 ・地域連携: 4 名	生涯学習センター 南大沢分館第 2 会議室
1 月 27 日 (金)	西部地区 担当: 力石、上野、堤、旗野 ・市民活動支援センターの業務一般 (はちコミねっとの操作方法、ゆめおりファンドの紹介、登録、その他の相談)	来場者 ・市民活動団体 6 ・生涯学習センター職員 1 名 ・市職員 3 名 ・高齢者あんしん相談センター 4 か所	川口やまゆり館 川口市民センター 会議室 2

市民活動支援センターのサポートを受けたくとも、交通アクセスが不便等の理由で利用を抑えている団体があります。市民活動のより一層の広がりを目指し、中央地区以外で出張支所の開設を試行しました。

【課題と評価】

「センター出張」を 2 回実施し、多くの方の意見・ニーズ等を聞くことができました。地域連携のサポート、新たな連携先を発見することもできました。地域によって、求められること、活動内容やカラーが異なり、気づきが多く大変勉強になりました。出張を機に、新規団体登録、地域内でのコラボ企画、はちコミねっとの普及、センター事業の周知などができ、はじめての取り組みとして試行的に始めましたがとても良い結果となり、2023 年度も引き続きこの事業を行うこととしたいと思っています。

(4) NPO 八王子会議

日時	テーマ・内容	参加者	会場
2 月 26 日 (日)	これまでの 20 年で NPO はどう変革したのか ～市民活動発展のために必要なこと～ ・基調講演 松原 明 ・話題提供 ① 行政と協働 藤岡一昭(八王子自治研究センター) ② 市民から求められる公益的活動の変遷 ～協働労働という働き方と労働者協働組合法～ 扶蕪 文重(ワーカーズコープ東京三多摩山梨事業本部 本部長) ③ 協働から共創へ 落合兼二郎(はちねこ) ・意見交換～これからの NPO に期待されること～	50 名	東京たま未来メッセ 第 1 会議室

【課題と評価】

3 年ぶりに会場での対面開催となり、50 名を超える参加者がありました。

2022 年 11 月に指定管理者である八王子市民活動協議会が、2023 年 6 月には市民活動支援センターが開設から 20 年が経ち、八王子市や地域、市民の市民活動に対する期待も同じ年月を重ねてきたと言えるでしょう。この 20 年で市民活動に期待される役割や存在意義に変遷があるのではないかと、これからの NPO に期待されることは何か、課題は何かを改めて考え意見交換を行いました。この 20 年を振り返る機会として良い会になりました。

参加者からは「時代と共に変化してきた政策と NPO の位置づけをよく理解できた」、「歴史と今後の方向を簡潔にまとめていただいた」、「市民活動の大切さを実感した」などのコメントをいただきました。今後は、ここで出た意見や議論をそのままにするのではなく、フィードバックするための議論を行う会を設ける必要があります。

3. 市民活動に係る情報の収集及び提供に関する事業

(1) 広報紙「SUPPORT802」について

本年度制作した広報紙の概要は以下の通りです。

発行号数	発行日	特集記事【取材団体】	発行部数
第 108 号	令和 4 年 5 月	八王子でつながる二人の偉人(後編) ～ハインリヒ・シュリーマンの見た「桑都」八王子～	5,000 部
第 109 号	令和 4 年 7 月	ファシリテーション、できていますか？ ～ファシリテーション勉強会「アンディ」の取り組み～	5,000 部
第 110 号	令和 4 年 9 月	「はちおうじ NPO フェスティバル 2022」 ～市民が主役のイベントをわたしたちといっしょにやりましょう！～	5,000 部
第 111 号	令和 4 年 11 月	すべての人に、活字の世界を届けるために ～「声のボランティア」知っていますか？～	5,000 部
第 112 号	令和 5 年 1 月	八王子コミュニティ応援サイト「はちコミねっと」リニューアル ～新しくなった「はちコミねっと」を利用して地域で活動しませんか？～	5,000 部
第 113 号	令和 5 年 3 月	ニュースポーツから広がる世界 ～誰もが楽しめる、レクリエーションとして生まれたスポーツの魅力～	5,000 部

主な配布先:センター登録団体、協議会会員、八王子市関係所管、市内公共施設、市内郵便局、中間支援団体、八王子市商工会議所、八王子まち・なか休憩所、市内 NPO 団体、配布希望町会・自治会、配布希望大学、その他(八王子センター元気、八王子市レクリエーション協会、紙面掲載団体)市内イトーヨーカドー

【課題と評価】

令和 4 年度はひきつづきコロナ禍ではありましたが、感染症蔓延防止の対策をとりながら、市民活動も復活の兆しを感じられる一年でした。広報では広報紙 SUPPORT802 のみならずメールマガジンや Facebook 等で支援センターイベントを紹介したり、市民活動団体の活動を「はちコミねっと」と整合して発信し情報を提供をしました。第 98 号から導入を始めた QR コードも定番となり、活字では伝えきれない情報をリアルな感覚で提供できることは、多方面より高評を得ています。また、助成金情報やイベント情報にも QR コードを取り入れて、「は

ちコミねっと」の各ページにリンクさせ、情報の入手をしやすくしました。

今年度は広報ミーティングで次号の取り組み計画を話し合い、取り掛かりを前倒しに進めてきました。特に初稿の読み合せはZOOMを併用して、スタッフが直接意見を交わすようにし、スタッフ間の理解の齟齬や内容の重複がないようにさらにブラッシュアップできたと思います。スタッフ間の情報はサイボウズを中心に紙面共有を図りました。制作スケジュールを意識するあまり、誤字等のチェックや表現の統一性を徹底できなかった点が大きな反省点として挙げられ、今後の重要な改善点です。

(2) メールマガジン「SUPPORT802 だより」

本年度発信したメールマガジンは以下の通りです。

号数	配信日	主な内容
No.159	4/01	*巻頭言:「新年度をむかえて」 *「新はちコミねっと」説明会 * 支援講座「地域活動や市民活動で活かすメタバース 作り方体験講座」
No.160	5/01	*巻頭言:「ものごとを歴史的に捉えること」未来は現在を生きる私たちの選択から 創造されていく *「はちコミねっと」個別講習 ほか
No.161	6/04	*巻頭言 : 支援講座『Facebook ページ入門講座』 *「 はちコミねっと」新システム*交流会【子育てをみんなで支えるまちづくり】 ほか
No.162	7/02	*巻頭言: ファシリテーションについて *実践講座「ブータン山の教室」映画上映とミニ講座 * 交流会「中高生によるグループディスカッション」 ほか
No.163	8/06	*巻頭言:「アクティブ防災訓練」NPO 法人国際ボランティア学生協会 IVUSA とともに *「NPO パワーアップ講座」全 6 回*「はちコミねっと」新システム移行について ほか
No.164	9/06	*巻頭言「そこにしかないもの」への関心が愛着に変わり、豊かさが生まれる *交流会「中高生によるまちづくりコンテスト」*アクティブ市民塾 *NPO パワー アップ講座 ほか
No.165	10/06	*巻頭言:「はちおうじ NPO フェスティバル 2022」の会場「東京たま未来メッセ」 について *アクティブ市民塾「食で地域を支える二つの団体を知ろう」 *「市民活動支援講座【プロボノを活用してみませんか?】 *NPO パワーアップ講座 ほか
No.166	11/10	*巻頭言:八王子コミュニティ活動応援サイト「はちコミねっと」リニューアル *支援講座 【「動画」で伝える!あなたの活動】 ほか
No.167	12/02	*巻頭言: SNS で取り組みを発信すれば市民活動も社会に影響を与える「メディア」 となる *支援講座【思いを伝える広報紙 *NPO パワーアップ講座 * 支援講座オンライン動画視聴で学ぶ お金の勘定・会計から知るNPOらしさ ほか
No.168	1/11	*巻頭言:今年やってみたいことを書き出してみよう *SDGs de まちづくり&地域連携 *八王子市市民活動支援センター1 日出張 in 西部地区(川口)
No.169	2/08	*巻頭言:「大雪の冬〜立春を迎えて」 * アクティブ市民塾 * パワーアップ講座 最終回 * 地域連携事業 (SDGs) * 「第 9 回 NPO 会議」のご案内 * 「はちコミねっと」講習会 ほか
No.170	3/07	*巻頭言:「ニュースポーツを体験してみませんか」3月 9 日(日)交流会とコラボ記事 *はちコミねっと」講習会 *相談業務*助成金情報 ほか

【評価と課題】

メルマガは月一で発信できましたが、原稿提出にばらつきがあり日程のばらつきがでてしまいました。

来年度は発信日程を区切って発信日程を絞っていききたいと思います。

メールマガジンは基本的には購読希望申込制ですが、センターFacebook に投稿したり、センター内にプリントアウトしたものを掲示して、一人でも多くの方の目に触れる機会を作り読者獲得を図りました。参加申し込みが増える傾向にありますが、例えば、事業計画への取り組みや後日談など、簡単なコメントを加えることにより、事業への読者の関心を高めるべく取り組んできました。ひきつづき読者をどう広げていくか、SNS を活用しながら情報手段として知名度を上げていきたいと考えます。

広報紙{SUPPORT802}、メールマガジンのほかに充実を図っていききたいのが Facebook、ツイッターなどの SNS のほか、センター内の掲示についても、利用者に来所の楽しみと同時に中間支援組織として有意義な情報を得られる施設づくりを図っていききたいと考えます。季節を感じる装飾や普段の利用者との交流の様子など大きなイベントだけでなく『日々是好日』支援センターを目指します。

(3) 八王子コミュニティ活動応援サイト「はちコミねっと」の登録・保守および活性化

年間登録団体数	:41 団体
年間登録抹消団体数	:32 団体 ※はちコミねっとリニューアル時
年間説明会・講習会参加団体数	:33 団体 ※5 月～8 月、10 月はリニューアル準備の為お休み
参加人数	:33 名
年間個別講習参加団体数	:72 団体
参加人数	:73 名
助成金	:78 件
講座・イベント情報	:287 件
仲間募集	:21 件
活動レポート	:364 件
ブログ	:10 件
お知らせ	:17 件

① はちコミねっとリニューアルを 4 月から本格的に行い、11 月にリニューアルオープンしました。

- ・団体へのお知らせと移行の意思確認

- お返事がない団体には、現在も対応中

- ・元気 365 と打ち合わせを複数回

- ・団体への説明会 (Zoom、対面)、対応 (電話、Zoom、対面)

- ・旧システムの凍結、新システム試験運用への対応

- ・凍結中の情報発信として、はちコミねっとだよりを発行

- ・操作説明動画の作成

- はちコミねっと用の基本的な内容で作成

- ・マニュアル作成

- はちコミねっと用の基本的な内容で作成

- ・講習会、個別講習、個別相談会の開催

- まとめて全部の講習ではなく、2 回に分けた内容で分かりやすくなるよう工夫

・トラブル対応

元気 365 と連絡を取り合い、随時対応

・西部地区と東部地区へ 1 日出張し、はちコミねっとに関する相談を受けました。

新はちコミねっとは、新しい機能が多くあり、慣れている方は問題なく使いこなせる為、不慣れな方に重点を置いて準備しました。

作成した動画やマニュアルがよく使われているようです。

基本講習会、個別相談会は今後も毎月継続予定

② ホームページの改善を、昨年から引き続き行いました。

・新着情報と活動レポートの紐づけが完成

・イベント報告に写真を複数枚掲載可能になりました。

【課題と評価】

課題としては、リニューアルに向けて、登録団体の意思確認を行いました。返事が返ってこない団体が多数ありました。登録団体との連絡の取り方についての工夫が必要です。

既製システムの為、要望通りにいかない事が多々あるので、対処方法の検討が必要です。

評価としては、既製システムを八王子用にすり合わせる必要で、何度も打ち合わせを行いました。

旧システムと操作方法が大きく異なる為、システム業者による専門的なマニュアルや動画では分かりづらく、市民団体向けに作成するなど創意工夫をしました。また、パソコン初心者に重点を置いた内容で構成した基本講座や個別相談会を開催し、手厚く対応しました。

4. 市民活動に係る啓発及び人材育成に関する事業

団体の基盤、信頼性、広報力等を強化する事業及び、市民活動紹介や啓発となる事業活動を進めています。

(1) パワーアップ講座 〈7 回〉 各 10 団体前後

◆方針： 市民活動団体がスキルアップする連続的な講座を行ないます。また、参加団体同士の交流の場となるような開催形式とします。

◆実績： 下記内容で全 7 回の開催が完了しました。 会場：クリエイトホール 第 2 学習室

No.	開催日	分野	テーマ	講師	参加団体数 参加者数
1	2022/ 8/24(水)	組織 & ひと	強くあたたかい組織・コミュニティをつくるポイント	CR ファクトリー 豊田 有希	7 団体 12 名(Z:1)
2	9/14(水)		みんなの気持ちが「グッ！」と高まるミーティングの基本	CR ファクトリー 高橋 葉子	10 団体 18 名(Z:2)
3	10/19(水)	会計 & 資金調達	市民活動団体の会計	脇坂税務会計事務所 脇坂 誠也	12 団体 18 名(Z:6)
4	11/16(水)		市民活動団体の資金調達 ～善意の資金の集め方～	ファントレージングラボ 徳永 洋子	10 団体 19 名(Z:8)
5	12/14(水)		審査員の視点から学ぶ 「助成金申請書の書き方」	NPO サポートセンター 小堀 悠	9 団体 19 名(Z:8)

6	2023/ 1/25(水)	情報発信	人が集まる講座と チラシの作り方	男女共同参画おおた 坂田 静香	16 団体 36 名
7	2/16(木)	プロボノ	その「困った」をサポートします これが八王子のプロボノだ！	センター職員 堤、篠野 プロボノワーカー	6 団体 17 名

※補足 ・会場は全てクリエイトホール第2学習室

・全7回を通して申し込んだ団体は、8団体

・第1回～5回はZoom配信あり、第6～7回はグループワークが主体のためZoom無しとしました。

【課題と評価】

- ・1年を通しての参加団体数/参加者数は、2021年度:69団体/119名、2022年度:70団体/139名と、市民活動に興味を持つ参加者を(17%)増やすことができました。
- ・全7回の講座で集めたアンケートは104件、このうち100件(=96%)で「とても良い～良い」という高評価をいただきました。どの講座も実践的で理解しやすく、グループワークでの意見交換なども参考になったことから活動にすぐに役立つことが期待され、参加者にとって満足のいく内容だったと思います。
- ・一方、参加団体数を増やしたいと考え、チラシや広報はちおうじでの紹介も活用させていただき、集客を行いました。2021年度より大きく増やすことはできませんでした。これは、ここ数年、講座のテーマに変化が少なかったことに一因があると考えます。23年度は、団体にとって新規性を感じるプログラムの構成を企画したいと考えます。

(2)アクティブ市民塾 <6回> 各10～40名

◆方針：市民活動団体が講師となり、実演等も交えながら活動紹介をします。参加した市民同士の交流の場ともなりました。

◆実績：下記内容で全6回の開催が完了しました

No.	開催日	テーマ / 講師団体	会場	参加者数	担当
1	2022/ 7/1(金)	「就労支援の現場を見にいこう！」 八王子ワークセンター、ひのき工房、結の会	結の会 ひのき工房	11名	大村
2	8/11 (木・祝)	「子どもが真ん中！ プレーパークを知らう・体験しよう！」 八王子冒険遊び場の会	宇津貫緑地 みはらし プレーパーク	10 家族 28 名	大村
3	9/28(水)	「あなたのアイデアをかたちにしませんか？」 八王子アイデア発明研究会	クリエイトホール 展示室	25 名	力石
4	10/22(土)	「食で地域を支える」 フードバンク八王子えがお &ハッピーステーションきよびー	ハッピーステー ションきよびー	10 名	力石
5	2023/2/12 (日)	学んで・作って・遊ぼう！ 「お手玉の魅力を体験しよう！」 八王子お手玉の会	まち・なかギャラ リーホール	24 名	力石
6	3/11(土)	笑いの大研究「暮らしに笑いを！」 ユーモアあふれる話し方、伝授します ユーモアスピーチの会八王子	まち・なかギャラ リーホール	43 名	大村

【課題と評価】

- ・講師団体の対象が「障がい者」、「子ども」、「シニア」と広範囲で、社会的に立場の弱い人たちを元気にするような活動を、市民へ紹介することができました。
- ・この3つの講座の中では、「就労支援の現場を見に行こう！」は団体を紹介するスタイルが無かったので、作業場の紹介に加え、八王子ワークセンターの土居さんを中心にして、障がい者の就労支援について意見交換を行なう場を設けました。これが、参加者にとっても「だれも取り残さない持続可能なまちづくり」を考える機会になったと思います。
- ・「八王子アイデア発明研究会」と「八王子お手玉の会」は今後活動を支えられるメンバーを募集していて、参加者の中から会員を希望した方がおり、またアクティブ市民塾に参加することでメンバーにいい刺激となったとコメントをいただき、実施して良かったと思いました。「食で地域を支える フードバンクえがお」と「ハッピーステーションきよぴー」の紹介では、両団体は、お互いを知っていましたが、薄いつながりだったので、企画の段階で話し合うことが増えて、一緒にやることがつながりを良くするきっかけとなりました。また、若者、地域住民でまだ活動していなかった参加者はいて、その場で「お手伝いしたい」と手をあげていただき、食を通して、居場所・困っている人の支援、食料配布、シニア世代安否確認等、「食」を共通にしたいろいろなカタチのサポートがあることに気づかされた講座でした。

(3) 支援講座 〈8回〉 各7名～25名 オンライン併用

◆方針：NPOや市民活動団体向けに、市民活動の支援となる講座を行ないます。

No.	開催日	テーマ	講師	会場	定員/ 実績	担当
1	4/29 (金)	メタバース作り方体験講座	浜野	支援センター 及びオンライン	30名/ 27名	浜野
2	5/19 (木)	ZOOM 講座	大村	支援センター	10名/ 8名	大村
3	6/11 (土)	Facebook ページ入門講座	力石	支援センター	10名/ 9名	力石
4	7/7 (木)	Google フォームを使ってみよう	望月 上野	支援センター	12名/ 10名	望月 上野
5	8/19 (金)	NPO 活動に役立つ 簡単チラシの作り方	鈴木	支援センター	10名/ 12名	鈴木
6	9/1 (木)	防災脳を活性化する！ NPO 活動に備える防災講座 ※明治安田生命相互保険会社	※	支援センター	12名/ 10名	岡崎
7	10/21 (金)	市民活動を支援する 「プロボノ」を活用してみませんか？	石山 恒貴	学園都市センタ ー 第5セミナー室	10団体/ 24名	旗野 堤
8	12/4 (日)	「動画」で伝える！あなたの活動 VLLO で学ぶはじめての動画編集	日比 野	支援センター	12名/ 9名	日比 野

9	12/17 (土)	オンライン動画視聴で学ぶ お金の勘定・会計から知る NPO らしさ	浜野	支援センター	15 名/ 2 名	浜野
10	2023/ 1/13 (金)	思いを伝える広報誌 自分たちの活動の魅力を発信しよう	惟村	支援センター	10 名/ 4 名	惟村

※明治安田生命相互保険会社からの提供講座

【課題と評価】

- ・昨今話題になっているメタバースを取り上げたり、YouTube 動画視聴等、昨今の Web サービスを活用し先駆的な IT 技術にトライしました。今後もこうした新しい事柄を取り上げて周知するような講座を検討していきたいと思います。
- ・ZOOM 講座は、何の機材を使い、どのレベルを対象にするか、そしてハウリングを抑えながら参加者全員が満足いく実習はどうやればできるか？ など、悩む点が多いです。2022 年度は、PC を使うホスト向けの講座として ZOOM 中級者を対象者としてしましたが、それでも受講者の PC スキルは幅広く、講座を進める難しさを感じました。2023 年度は、ZOOM アカウント取得などは、講座の前にサポートする対応も検討したいと思います。
- ・Facebook 講座を 2021 年度からスタートし、他の SNS との違い、個人ユーザーの基本知識、Facebook ページの作成と活用方法を参加者に教えました。参加者のパソコンリテラシーのレベルが違って、目的であったページ作り・運営ができるまで時間がかかり、講座後のサポートも必要となりました。高評価をいただきましたが、Facebook が 40 代以上の世代がメインであること、他の SNS やホームページ作成のニーズが高まっているため、今年度は Facebook 講座を実施せず、HP づくり等に変更となりました。
- ・令和 4 年度は外部講師ではなく、センタースタッフが専門に講師をしていること、得意なことを講座として提供する形式にし、全 10 回開催しました。スタッフ自ら講師となることにより、事前の学習が必要でもあることからスキルアップにもつながったと思います。
- ・いまだコロナ禍が続く令和 4 年度であったため、密を避けた小さな講座を数多く開くことは、選択肢も広がり団体への支援としては有効であったと評価します。また、企業からの寄付講座も導入し、予算削減の面からも効果があったと思います。
- ・無料で簡単に使える Google フォームをとりあげましたが、すぐにでも使う予定のある方が多く、興味を持って参加いただきました。近年の傾向として、アンケートやイベント申込み、意見の投票などをオンラインで実施したいというニーズの高まりがうかがえました。参加者の多くはパソコン操作に慣れていたので、講座も比較的スムーズに行うことができ、内容も評価をいただけたと思います。今回の講座では基本的な使い方にとどめましたが、応用例なども紹介できるとよかったと思いました。
- ・動画制作については一定程度のスマートフォン・パソコン操作に習熟している必要があり、レベルのばらつきによるきめこまやかな対応が物理的に可能かどうか懸念点でしたが、参加者アンケートによると、講座参加前に「動画編集の経験がある」または「チャレンジしたけれどうまくいかなかった」と回答した方は合計 85% に及ぶなど、「動画編集に挑戦して一度挫折した人が、改めて学ぶ場」として講座が機能したのではないかと分析できます。
- ・「とりあえず、1 本作品をつくる」ことを目的に実施しましたが、講座の時間としては 3 時間程度の枠を設けるなど、もう少し確保する必要があったと考えます。ただし、後日にフォローアップの機会を設定し、講座参加者のうち 1 名に利用いただいたことで、作品づくりのサポートを行うという目的は、一定果たすことができたかと総括

します。

- また、講座運営にあたっては、東洋大学の学生ボランティア 3 名が、動画制作作業時に個々の参加者へのサポートを行ったり、素材動画の撮影補助を行ってくれたりなど、彼らの活躍なしには講座は成立しませんでした。デジタル機器の操作に長ける大学生が動画制作のサポートを行うという構図は、参加者にとっても頼り甲斐があり、結果として世代間交流の契機を創出できたことにもつながり、有益であったと考えます。
- 広報紙のいわゆる「文章の書き方」を中心とした企画。参加者の全員がすでに所属団体に広報業務に携わっていただけたに、むしろ構成を中心とした内容に質問が集中しました。「文章」という極めてアナログな部分の重要性は不変ですが、画像の取入れ方やQRコードについては、内容に広がりを持たせたり、補完するものとして興味をもって頂いたと思います。

(4) 実践講座〈1 回〉 50～100 名

◆方針：市民向けに、NPOや市民活動の普及や啓発となるような講座を行ないます。

No	開催日	テーマ	講師	会場	定員/ 実績	担当
1	7/29 (金)	「幸福度を高めるコミュニティの活 力とNPO」 ～映画：ブータン「山の教室」から 地域コミュニティの大切さを学ぶ ① 観る前のブータン予備知識 ② 映画「ブータン山の教室」 ③ ミニ講座「幸福度を高める地 域コミュニティの大切さ」	岡崎理香	学園都市セン ター 12 階ホール	110 名 / 101 名	岡崎

【課題と評価】

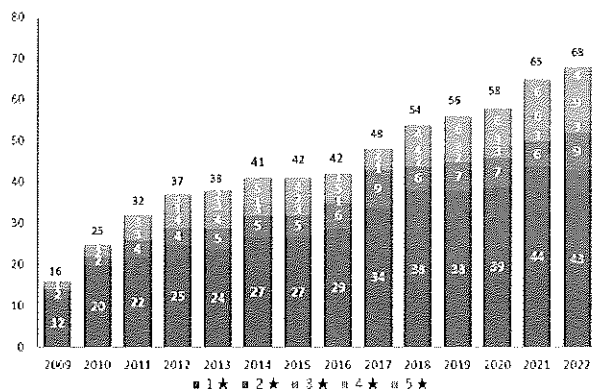
- 令和 5 年度から発効する八王子市の総合計画「八王子未来デザイン 2040」でも「地域自治」と「共創」が「未来を拓く原動力」と記載があるように、「地域コミュニティの活力」が地域づくり、まちづくりには必要です。その大切さと自分の住む地域への愛着を子ども達にも気づいてほしいとの目的で、地域コミュニティの活力を幸福度の指標としているブータン王国の映画「山の教室」(文部科学省推薦)の鑑賞と「幸福度」についてのミニ講座を、夏休みイベントとして企画しました。期待に反して子どもの参加は少なかったですが、定員 110 名に対し、それを大幅に超える申し込みがあり、この講座への期待の大きさを感じました。
- 地域コミュニティとNPO(市民活動)の関係や連携のテーマはこれからも取り上げていきたいと思います。

5. ゆめおりファンド事業

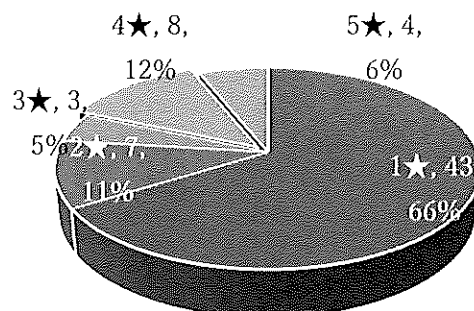
(1) 団体情報開示支援

1. ゆめおりファンド認証団体・登録団体(全体)

- ◆ゆめおりファンドの認証・登録団体の推移を次グラフに示します。2022 年度は 68 団体です。
- ◆新規登録団体は、NPO 法人エチオピアの多国籍共同体(1★)、start up あさひ塾(1★)、一般社団法人まもりすくん(2★)、なぎのは(1★)の 4 団体です。
- ◆68 団体の情報開示状況を次グラフに示します。認証団体は 16 団体(23%)、登録団体は 52 団体(77%)となっています。



認証団体: CANPAN 団体情報開示度が 3★～5★
登録団体: CANPAN 団体情報開示度が 1★、2★

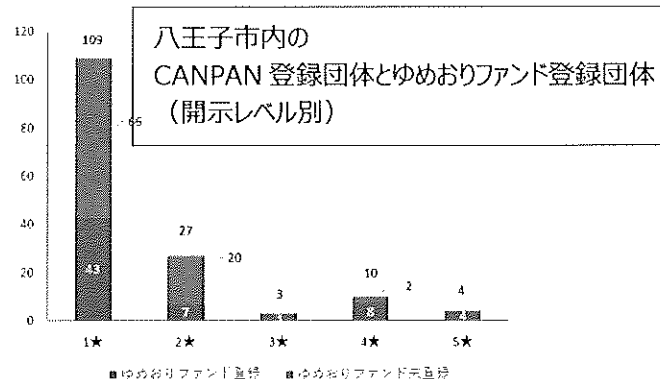
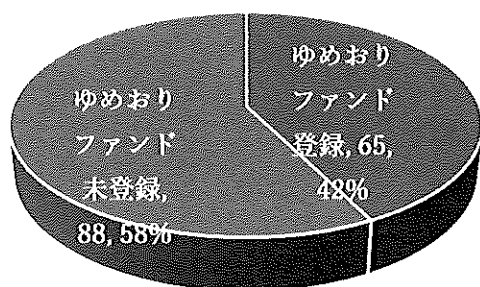


ゆめおりファンド団体情報開示レベル

2. ゆめおりファンド認証団体・登録団体(八王子市内)

◆ 八王子市内における CANPAN 登録団体とゆめおりファンド登録団体の比率を次グラフに示します。

CANPAN 登録 153 団体中、ゆめおりファンド登録団体は 65 団体、未登録は 88 団体となっています。



八王子市内の CANPAN 登録団体とゆめおりファンド

◆ 上記グラフを開示レベル別でみると次グラフの通りです。

ゆめおりファンド 認証・登録団体 (2023/4/1)	登録団体		認証団体			計
	1★	2★	3★	4★	5★	
	43	9	3	9	4	68
CANPAN更新(3年以内)	16	0	3	7	4	30
CANPAN更新(3年以前)	26	8	0	1	0	35
主たる事業所(八王子市外)	1	1	0	1	0	3
八王子市内CANPAN登録	109	27	3	10	4	153

認証団体は4★の
2団体が未登録で
あることが分かります。

3.課題と今後の進め方

◆登録に関する課題と今後の進め方を次表に示します。

課題	今後の進め方
・ 3★以上の認証団体比率が 23%と低い	・ 4★でゆめおりファンド未登録の 2 団体に登録を勧める ・ 1★、2★の登録団体の★アップを支援する
・ 1★、2★団体の 68%が 3 年以内の情報更新できていない	・ 更新と★アップを支援する
・ 市内の CANPAN 登録団体 153 団体中 90 団体がゆめおりファンド未登録	・ ゆめおりファンドを PR し登録を支援する

◆認知・PR に関する課題と今後の進め方を次表に示します。

課題	今後の進め方
・ 多くの団体はゆめおりファンドの支援を知らない	・ 従来の支援センターHP、広報、ちらし、講座、説明会などを通じた情報発信を継続する
・ ゆめおりファンド認証・登録団体以外の団体への情報発信が不足している	・ 「はちコミねっと」に支援情報をアップする ・ 「はちコミねっと」登録時にスタッフからゆめおりファンド紹介と登録勧誘を継続していただく

◆企業・大学との連携

物品支援だけでなくプロボノによる人財支援及びセンター事業との連携・共創を念頭に今後の進め方を次表に示します。

課題	今後の進め方
・ 寄付いただいた企業様との関係が一過性に終わっている	・ 支援センターの広報など送付し関係を維持する ・ 訪問を再開する
・ コロカ禍で大学・高专との関係が希薄になっている	・ 訪問を再開する
・ 感謝状贈呈時期がまちまち (団体からの活用報告を待っていた)	・ 感謝状贈呈の内規を作成・実行する

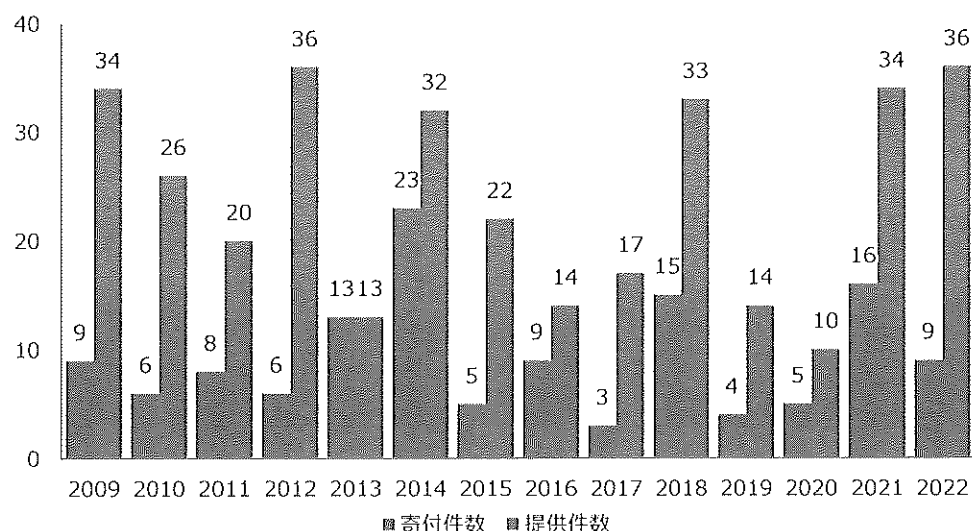
(2)物品の支援

1.寄付・提供実績(件数)

◆物品寄付・提供の推移を次グラフに示します。

◆大塚電子株式会社様から文房具類、オリンパス株式会社様から事務室什器類、インフロニアホールディング株式会社様(コーユーレンティア株式会社様)から事務室什器類、株式会社ジャノメ様から手帳など、個人からのプリンターやPCアクセサリなど計 9 件寄付いただきました。

◆団体への提供実績は計 36 件でした。特に今回は、寄付いただきましたオリンパス株式会社様の社会貢献への熱意とご厚意から、西東京市(3 団体)、日野市(2 件)小平市(1 件)と計 6 件提供することができました。



2. 寄付物品の概要

分類	数量	内容
チェア	339	OAチェア、ミーティングチェア、丸椅子、折畳椅子
デスク	107	平机、脇机
事務用品・文房具	99	付替フリューム、2穴パンチ、ホッチキス、ガチャダマ、各種シール、各種テープ
テーブル	84	フオルディングテーブル、木目調折畳みテーブル、四角テーブル、電話置
収納家具・用品	51	書庫（キャビネット3段・ラテラル3段）、大型書庫、9人用ロッカー
作業・安全	49	緊急用毛布、幼児用ヘルメット
間仕切り	41	パーティション（大きさ・形状など11種類）
掃除洗濯用品・雨具等	30	化粧石鹸、消毒用洗剤、ビニール傘、コロコロ
筆記用具	26	鉛筆、色鉛筆、ボールペン、替え芯、マジックインキ、マーカー
インテリア	6	丸時計、置時計、置物、花瓶
PCアクセサリ	2	27インチモニター
プリンター	2	複合プリンター
家電	1	複合プリンター
音・映像	1	3Dレコーダー
ファイル	多数	リングファイル、コピー用紙、リフィル
ノート・紙製品	多数	マルチペーパー、各種
その他	多数	丸時計、置時計、テーブルタップ、2023年カレンダー、手帳

3. 提供先

- ①ほっとスペース八王子(プリンター・時計・ファイル)、いちようまつり祭典委員会(チェア・テーブル等)、たんぼぼの輪(文房具類)
- ②防災・災害ボランティアかわせみ(チェア)いちよう祭り祭典委員会(デスク・テーブル・チェア)、菰の会(デスク・チェア)、ひなげし(チェア・キャビネット)、チャイルドライフ(デスク・テーブル・チェア・間仕切り)、いきいき福祉会(チェア・間仕切り)、しあわせのたね(デスク・テーブル・チェア・間仕切り)、日野すみれ会(テーブル)、みずき福祉会(チェア・テーブル・間仕切り等)、なみき福祉会(デスク・チェア・テーブル・キャビネット)、子どもアミーゴ西東京(チェア・間仕切り)、日野市民活動ネットワーク(テーブル・チェア・間仕切り)、中央地区環境市民会議(チェア)、ミモザ(テーブル・チェア)、ぶるーべりー愛犬ふぁみりー協会(キャビネット)、八王子ウインドアンサンブル(キャビネット)八王子市社会福祉協議会(デスク・テーブル・チェア・間仕切り等)、コミュニティーネットワーク協会(デスク・チェア)、マル

- ベリー東京パイロットクラブ(チェア)、ひよどり山中学校(チェア・キャビネット)、からまつ(キャビネット)
- ③マルベリー東京パイロットクラブ(テーブル・プリンター・立替フレーム)
- ④エチオピアの多国籍共同体(レコーダー・チェア・デスク・テレビ・時計・事務用品・ファイル等)
- ⑤からまつ(幼児用ヘルメット・洗濯用品)
- ⑥二十歳のピロリ菌チェックを推進する会(チェア・デスク・テーブル・キャビネット)
- ⑦CES(チェア・ロッカー)
- ⑧まもりすくん(事務用品・文房具・紙製品)

4.活用報告

- ◆コユーレンティア株式会社様の紹介で寄付いただいた西松建設様、パーキングソリューションズ株式会社様、活用報告と感謝状(八王子市と協議会)を贈呈いたしました。またインフロニア・ホールディング株式会社様へ活用報告いたしました。
- ◆立川市の某企業様へ活用報告と感謝状(協議会)を贈呈しました。
- ◆オリンパス株式会社様へ活用報告と感謝状(八王子市と協議会)を贈呈いたしました。

(3)人材の支援

1.今年度の概要

2022年度の実績は、①多摩陽光台自治会(新 Website 構築)、②武蔵野会(施設利用者及びOBのための情伝達ツール開設)、③FAN eyes(銀行口座の開設)の3件です。

2年前には福祉部が「地域の縁結びプロジェクト」と銘打ったプロボノを始めたり、今年度は協働推進課においても町自連におけるプロボノを開始しました。これら2部署のプロボノは、いずれも高齢者の活動支援の観点で捉えたもので、ハードルの低さや場合によっては謝金も得られるようなものになっています。

一方、私たちのプロボノは分かり難いと言われますが、支えるワーカーも支えられる団体も、市民活動を力強く推進していく目的を鮮明にしたのもです。

しかし、支援センターのプロボノは、年間3件程度の実績は維持してきたものの、ワーカーの確保、団体のニーズ集積の両面を基にしたマッチングで成り立つものですが、登録者数を増やしていても、具体的な課題を提示できないまま日時が経つと意欲が失せていく傾向が見られました。

このような背景のもと、昨年度は志民塾、それに加えて今年度はパワーアップ講座の一コマにプロボノを採り上げて頂き、分かり難さの克服に努めました。また、コロナ前は毎年一回実施してきたプロボノ説明会も、従来のサービスグラント型を一旦外れ、石山先生を講師に招聘して実施しました。

6. 調査研究活動

(1)施設利用者満足度調査

令和4年度も施設利用満足度調査を令和5年1月～2月に行いました。結果は支援センターホームページに公開しています。スタッフについての対応などの満足度については「満足」と「やや満足」を合わせて99.5%であり、ほぼすべての来所者が満足と答えています。また自由意見では、「丁寧」、「親切」という言葉が多くあり、スタッフの運営姿勢が好評価を得ている結果だと思われます。センター全体の満足度は99%であり、ほぼすべての人が満足と感じていることがわかります。今後のセンター運営に役立ててまいります。

詳細は別紙添付の「利用者満足度調査報告書」を参照ください。

(2)NPO マニュアル(改訂版)

10年前に発刊してセンタースタッフの相談業務にもテキスト的に使用してきた「NPO マニュアル」の改訂版を発刊しました。月日とともに変更のあるものを見直し、現在の状況に合った内容にしています。

【課題と評価】

利用満足度調査の結果は、「満足」、「やや満足」で 99%となり、引き続き高評価をいただきました。自由記述ではスタッフの対応が良い、センターの雰囲気が明るくなった、コロナ感染予防の対応が良いなど、センターを利用する方々に気持ちよく利用してもらおうとの努力が認められた形となり、スタッフのこれからの励みにもなりました。一方で予約の方法などに不満のある方も見受けられ、今後の検討課題です。

7. 市民活動に係る相談に関する事業

(1) 相談対応及び専門相談

支援センター業務の大きな柱である相談業務は、相談者に寄り添い、受け止めるという基本的な考え方で対応しています。相談は1回で終わりにせず、いわばリピーターとして何度も来ていただき、さまざまな視点からの助言と提案を心掛けて対応しました。

専門相談は第三者委託制度の活用やNPO法人との提携により、経理、労務、税務等の相談に対応しています。

「市民活動団体(法人格の無い NPO)」に所属する相談者が一番多く、全体の 51%でした。次いで「個人」、「NPO 法人」となり、八王子市内ではある一定数の団体が法人格を持たずに NPO 活動を継続していることがわかります。

相談の目的は「団体運営」が一番多く、団体をどう進めていくか模索している相談が多くみられます。「団体設立」も多く、これから団体を作ろうと考えて来所する人も一定数存在しています。「利用問合せ」も多く、はちコミねっとをリニューアルした影響もあると思われます。

※添付資料参照:「令和4年度相談業務まとめ」

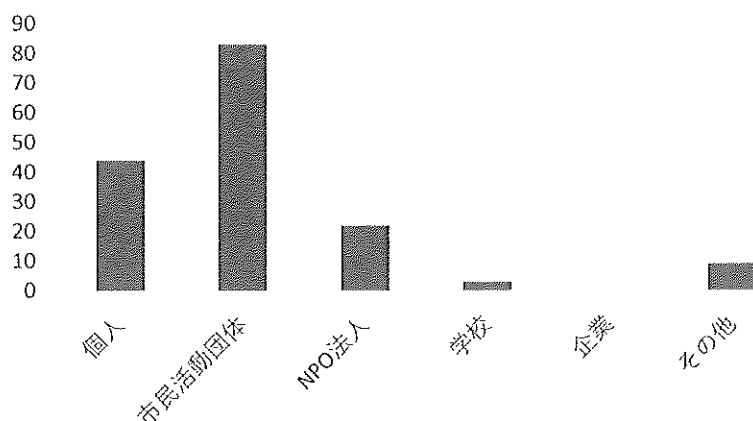
【課題と評価】

令和4年度も、NPO 法人設立、NPO 法人運営、団体の会計、助成金獲得や効果的な広報、他との連携等様々な相談があり、これら一つ一つに真摯に対応しましたが、同時にスタッフの知識や能力の向上という点も課題の一つです。今後もスキルアップに努めるために、研修や研究をしていきます。

また、NPO 活動の図書館機能を目指して資料コーナーの充実を引き続き計画していきます。

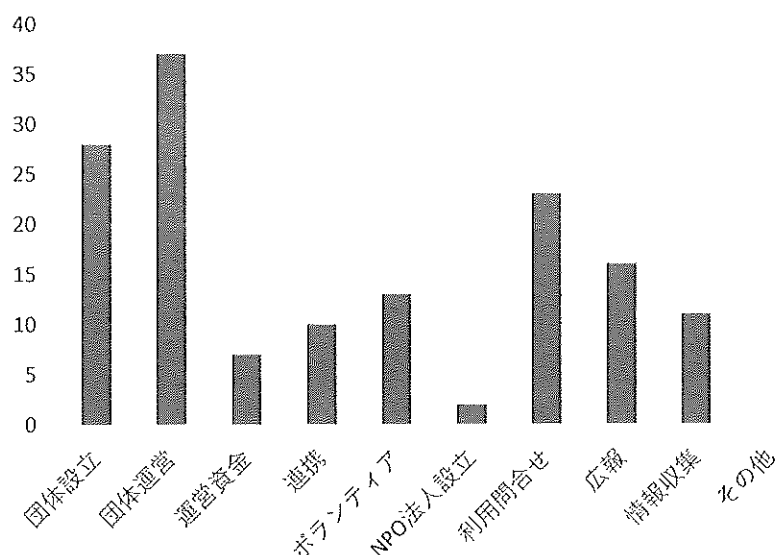
令和4年度は3年度に続き相談をきっかけとして登録する団体も例年より多くあり、他団体との連携につなげるなど、センターのミッションの一つである「つなげる」「連携」にも貢献できました。

相談者の所属



個人	44
市民活動団体	83
NPO法人	22
学校	3
企業	0
その他	9
合計	161

相談者の目的



団体設立	28
団体運営	37
運営資金	7
連携	10
ボランティア	13
NPO法人設立	2
利用問合せ	23
広報	16
情報収集	11
その他	0
合計	147

【3】はちおうじ志民塾（八王子市からの委託事業）

はちおうじ志民塾 14 期

実施期間:令和 4 年 9 月 17 日～令和 5 年 2 月 18 日

受講生:17名

場 所 :クリエイトホール(八王子市生涯学習センター)第 2 学習室・視聴覚室

学園都市センターセミナー室

八王子市中心市街地

NPO 法人小津倶楽部(八王子市小津町)

東京都立大学(南大沢)

	日 時	テーマ	概 要	講 師
1	9 月 17 日(土) 14:00～16:30	入塾式	基調講演:「コミュニティをつくる NPO活動」	NPO 法人エヌピーオー・フュージョン長池 理事長 田所喬
2	9 月 24 日(土) 13:30～16:30	オリエンテーション 地域への第 1 歩	地域参加に必要なコミュニケーション	合同会社結惟 代表 鈴木 結子
3	10 月 1 日(土) 13:30～16:30	活動の情報発信	ZOOM の使い方 情報発信のための動画の作成	市民活動支援センター 大村厚夫・浜野悦博
4	10 月 15 日(土) 13:30～16:30	八王子を知る 八王子市の概要	協働のまちづくり 八王子未来デザイン 2040 日本遺産「桑都物語」の推進	八王子市職員
5	10 月 22 日(土) 13:30～16:30	自分を知る	自己の動機・価値観・強味を知る 自分史を振り返る	日本リフレクティング協会 理事 作田稔
6	10 月 29 日(土) 10:00～16:00	地域を育む活動 小津倶楽部	町会と NPO が連携した取り組み (町会・NPO・行政・大学・市民の 連携)	NPO 法人小津倶楽部 代表理事 前原教久

7	11月5日(土) 13:30～16:30	地域課題を解決する	地域に飛び出すプランづくり 卒塾発表に向けてのグループづくり	ファシリテーション勉強会「アンディ」 小林万里子(10期生)
8	11月12日(土)	地域を育む活動	町会・自治会を知る ボランティア活動を知る NPO 活動を知る	めじろ台 まちづくり協議会 八王子市ボランティアセンター 八王子センター元気 ハッピーステーションきよびー
9	11月26日(土)	八王子を知る	くちコミ隊とのまち歩き まちの魅力を再発見	八王子まちの魅力 くちコミ隊
10	12月3日(土)	地域課題を解決する	グループ活動	
11	12月10日(土)	地域資源としての大学	東京都立大学 学生と一緒にグループワーク	東京都立大学 教授 山下祐介
12	1月14日(土)	活動への支援	ゆめおりファンドの紹介 ファンドレイジングの方法 創業支援の紹介	市民活動支援センター 担当者 八王子市民活動協議会担当者
13	1月21日(土) 13:30～16:30	セカンドライフを企画する	自らの海図をつくる 海図の発表	日本リフレクティング協会 理事 作田稔
14	2月4日(土) 13:30～16:30	卒塾発表	塾生自らが設定した地域課題の 解決方法・アイデアを発表	卒塾生各グループ
15	2月18日(土)	卒塾式	修了証書授与 決意表明	

【課題と評価】

第5期から「はちおうじ志民塾」を運営してちょうど10年になりました。この間前期後期に分かれたプログラムを1本化するなど、受講生のニーズを反映したプログラムの改訂を行ってきました。どの期からも変わらず好評を得ていることは大きな評価だと思います。

今後も受講生の満足度が高い講座を企画し運営していきたいですが、ここ数年予算の縮小が続き、質を落とさず講座を運営することに難しさを感じています。

【4】協議会自主事業

1. 事務局（総務）

(1) 会員管理

当協議会は2022年11月に創立20周年を迎えましたが、会員の高齢化が進み、活動が困難となる方もいらっしゃいましたので、状況を伺いながら、フォローしてきました。新規入会は6団体、9名あり、正会員は横ばい、賛助会員と協力会員は14名の減少となりました。

会員数の推移				
	R3年度末	退会	入会	R4年度末
団体正会員	67	-7	6	66
個人正会員	46	-4	6	48
賛助会員	38	-7	0	31
協力会員	31	-7	3	27
合計	182	-25	15	172

(2)20 周年記念式典・交流パーティー

令和 5 年 1 月 22 日(日)午後 2 時から八王子エルシィにて、石森八王子市長、吉本八王子市議会議員、萩生田衆議院議員を始め多くの皆さまをお招きして、盛大に開催されました。

第 1 部では来賓の皆さまからご祝辞をいただき、20 年、10 年在籍会員の表彰や当協議会をご支援いただいた企業や団体の皆さまへの感謝状の贈呈が執り行われました。

第 2 部はテーブル席で、交流パーティーが行われました。八王子観光 PR 特使の富永祐輔氏の歌唱「桑都物語」、「Life is Waltz」、「夕焼小焼」が披露され、最後は「太陽おどり」で大いに盛り上がりました。記念式典の出席者は 74 名、交流会の出席者は 63 名になりました。

【課題と評価】

会員管理では、会員の皆さまの高齢化に伴い、会員数が減少傾向にあります。若い方や子育て世代の方々にも当協議会に関心を持っていただけるよう取り組んでいきたいと思ひます。また、会員サービスを向上させ、情報交流を促進してまいります。

2. 広報部

(1)協議会だより

・発行の概要は以下の通りです。

発行	発行日	主な内容
102 号	令和 4 年 4 月 1 日	・岡崎理事長 あいさつ ・13 期志民塾の卒塾式を終えて ・八王子市男女共同参画社会の実現を目指す条例のご意見を募集します ・八王子市民活動協議会理改選のお知らせ
103 号	令和 4 年 6 月 1 日	・「令和 4 年度協議会の活動方針」理事長岡崎理香 ・令和 4 年度通常総会報告 ・令和 4 年度理事改選 新理事の紹介 ・令和 4 年度主な事業計画 ・会員活動 NEWS NPO 法人おもてなし国際協議会 ・会員紹介 NPO 法人ならはらの森なかの学舎
104 号	令和 4 年 8 月 1 日	・はちおうじ NPO フェスティバル参加団体募集 ・いちよう祭り「わくわく広場」参加団体募集 ・はちおうじ志民塾第 14 期受講生募集 ・会員紹介 カウンセリングスペースまでりあ、一般社団法人都市農福を推進する会 ・東京都女性・若者・シニア創業支援事業のお知らせ ・私の地元応援ファンド募集 ・地域デビューパーティー(チデパ)802の実行委員募集
105 号	令和4年 10 月 1 日	・第14期「はちおうじ志民塾」入塾式開催 ・2022 年度私の地元応援ファンド助成団体発表 ・会員紹介はちねこ ・いちよう塾での講座の提供 ・第 2 回地域デビューパーティーの実行委員をしてみませんか ・3 年ぶりのいちよう祭り「わくわく広場」開催！

106 号	令和4年 12 月 1 日	・創立 20 周年記念式典・交流会のお知らせ ・はちおうじ NPO フェスティバル 2022 報告 ・第 43 回いちょう祭り「わくわく広場」報告 ・第 2 回みんなの地域デビューパーティー(チデバ)802 開催のお知らせ ・中期計画・新規事業検討メンバー募集のご案内
107 号	令和 5 年 2 月 1 日	・創立 20 周年記念式典・交流会報告 ・会員紹介 東京八王子プロバスクラブ ・第 2 回地域デビューパーティー(チデバ)802開催のお知らせ ・第 9 回 NPO 八王子会議開催のお知らせ

(2)ホームページの管理

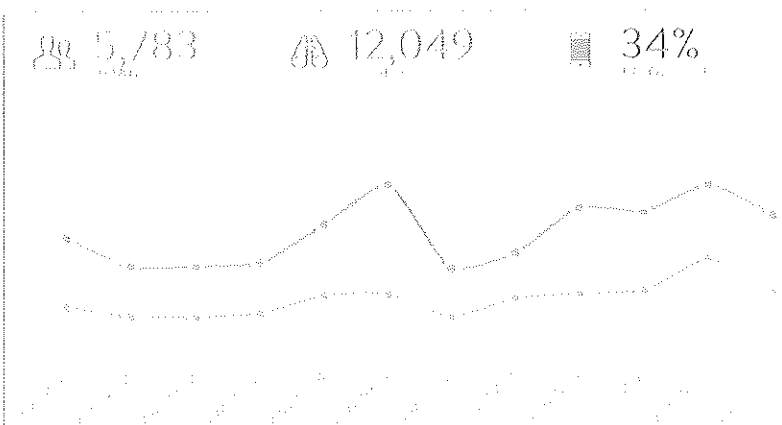
ホームページは、令和 4 年度に個別記事の表記に統一性を持たせ、見やすくしました。

また、月別等のアクセスの数量を公開するようにしました。

令和 4 年度(2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日)の訪問者数は 5,783、ページビューは 12,049 でした。

年間を通して多少の上昇傾向では見受けられますが、月により凸凹がありました。モバイルページビューは 34%でしたので、およそ 3 分の1がスマホ等でアクセスしています。

フェイスブックでは、年度中のリーチが 3,355、アクセスが 772、フォロワーが 363 人でした。



【課題と評価】

既存の携帯電話からスマートフォンへ乗り換えることで、インターネットを利用する人が多世代にわたり多くなっている昨今ですが、当会の令和 4 年度のホームページの訪問者数等についてはまだ多いとは言えません。より多くの増加とするために記事数を多くしたり、フェイスブックや、令和 4 年度後期にリニューアルしたちコミねっとからの連携を強化していきます。

フェイスブックに関しても、委託事業である支援センターのフェイスブックに比しても少ない数であることが課題です。これについては各事業の記事数を多くすることや双方向的なコンテンツ等の工夫をはかることで閲覧を増やし、当会の八王子市内でのプレゼンスを上げていくことをはかります。

3. 交流推進部

(1)地域デビューパーティ

第 2 回地域デビューパーティは 3 月 5 日 12:00 からオクトーレ 12 階学園都市センターのホール、第 1～第 5 セミナー室で開催しました。

式典・対談を YouTube で、出展団体を Zoom で紹介、パフォーマンスの時間枠を設定するなど、ライブとオンラインを併用したハイブリッド開催としました。

49 出展団体の内、初参加が 12 団体あり、活動分野も多方面に広がりました。昨年比 100 名増となった参加者 353 名(個人参加 193 名団体参加 115 名スタッフ 44 名)の内、113 名(男性 53 女性 56)からアンケート回答があり、「二人の対談に勇気をもらった」「これだけの多方面に渡る市民活動団体を巡って、話が聞けるなんてすごい!」「多くの人と繋がった。感謝です」「ハンドベルの演奏が素晴らしかった」など感想が寄せられました。最後に好感度 1 位～3 位の団体に手作り賞状&メダルを授与し終了しました。

【課題と評価】

参加者とアンケート回答者では、多世代・女性の増加が際立ちました。来場者の増加の要因は、コロナ禍自粛していたライブ開催への期待と、対談者(梅沢香代子さん&町田典子さん)の影響力、そして舞台でのライブパフォーマンスが大きかったと思われます。アンケート結果では「ちでば」での交流が、地域活動活性化への大きな期待を感じる内容になりました。

更に多世代への広がりを目指し、Zoom 対応の充実を図りたいと思います。

(2)八王子いちよう祭り「わくわく広場」

3年ぶりの「わくわく広場」の開催となりました。参加団体 20 団体(内新 6 団体)、参加スタッフ 241 名、参加者数延べ 3,500 名でした。NPO フェスティバルの同月開催が重なり 3 年間のブランクもあり、市民センター内、フードコート、河川敷とまばら感もありましたが、新たな仲間も加わり、楽しい賑やかな会場となりました。警備等、参加団体の協力を得ることができ、各団体協働の成果が表れた「わくわく広場」です。19 日は暖かな陽射しの中、残念ながら 20 日は午後 2 時半ごろより雨模様となり、早めの撤退となりましたが、参加いただいた団体は、活動の紹介・活動のための資金調達ができ、地域の方々にも喜んでいただきました。

【課題と評価】

理事の大幅な入れ替わりと 3 年ぶりの開催ということで、準備の担い手の確保に苦慮しました。もっと早い準備の着手と会員をはじめとしてボランティアや手伝いを多く巻き込むことが必要と感じました。「わくわく広場」は市民・団体の手作り感が好評の会場です。今後もこの会場を継続して開催するために、担い手を増やす工夫、そのための広報の工夫が必要です。

(3)その他

NPO フェスティバルの当日スタッフとしてサポートしました。

4. 地域ネット部

(1) 一般社団法人八王子自治研究センターと共催で、「第 14 回共助のまちづくりシンポジウム」

(令和 4 年 11 月 27 日)を開催

令和 5 年 4 月からスタートする「八王子市未来デザイン 2040(基本構想・基本計画)」(2030 年度までの 8 年)では、中学校区を単位に住民や団体に構成する「地域づくり推進会議」を設置しました。今回は「地域づくり推進会議」に関わっている方々が報告し、パネルディスカッション及び会場のみなさんとの質疑応答・意見交換をしました。

概要説明・コーディネーター(敬称略)

藤岡 一昭(一般社団法人八王子自治研究センター理事長)

報告者(敬称略)

中村 八重(川口中学校区地域づくり推進会議メンバー)

森 宏治(長房中学校区地域づくり推進会議メンバー)

コメンテーター(敬称略)

志村 慶太(八王子市未来デザイン室長期ビジョン担当主幹)

(2)地域の支え合い居場所づくり(ゆめおりハウス計画:仮称)検討準備プロジェクト

多様性のある多くの団体、個人が集い、自分のできることを提供し合い支えあうプラットフォームとしての居場所づくりを検討しました。まだ準備検討の段階ですが、助成金の申請や場所の選定を検討しました。

【課題と評価】

当日の参加者は関係者を除き 30 名でした。本年度のシンポジウムは 2 年ぶりの会場開催でした。しかし依然として新型コロナウイルス感染症が収まっていないこともあり、参加者の定数を少なくしました。八王子市の基本構想・基本計画の歴史的な経緯、「地域づくり推進会議」の事例報告を受けて、意見交換をしていきました。「地域づくり推進会議」の役割(特に人材育成、財源確保など)について様々な意見・提案が出ました。全体的に大変有意義な場となり、参加者の満足度の高いシンポジウムとなりました。

5. 女性・若者・シニア創業サポート事業

創業支援部は東京都女性若者シニア創業サポート事業を請け負い、①創業サポートセミナー開催および②ハンズオンによる創業支援、の事業を担っています。今年度は、新規加入の協議会会員の中でも創業セミナー講師を担うことができる会員も 3 名追加となり、新たな体制で実施する初年度です。

創業セミナーサマリー

開催日	セミナータイトル	講 師
9月6日	女性のための創業セミナー / 創業の真相	鮫島 淳、菅 貴子
9月13日	創業前からできる集客 (Instagram活用)	菅 貴子
9月20日	ブランディング～SNS x メディア戦略	鮫島 淳、菅 貴子
9月27日	事業計画の第一歩	鮫島 淳
10月4日	事業計画何でも相談会	鮫島 淳
1月31日、2月1日	創業のファクトと活用できるリソース	岩淵 真人、上田 高弘
2月18日、2月25日	IT活用セミナー	磯間 雅也、巴 義明
3月2日、3月4日	事業計画書セミナー	古川 洋一、千種 康民
2月6日	55歳以上の創業セミナー / 創業の真相	鮫島 淳、菅 貴子他
2月13日	創業前からのInstagram集客	菅 貴子
2月20日	SNSを活用したブランド戦略	鮫島 淳
2月27日	売上未達！絶体絶命の危機脱出法	磯間 雅也
3月6日	事業計画何でも相談会	鮫島 淳、菅 貴子他

【課題と評価】

年初に計画した目標は、①単発のセミナーでなく 2 回もしくは 5 回連続セミナーをより多く開催(実績 16 回)、②オンライン開催であるため都内広範囲から真に創業を望む参加者の募集(実績受講者 45 名)の 2 点です。メンバーの協力とネット/DX 活用により、この 2 点とも達成できました。

課題として 2 点あり、1 点目は、事業運営の分担が十分でなく、より適材適所にて事業運営する必要があります。2 点目は東京都女性若者シニア創業サポート事業が最終年度になり、実質的なセミナー事業実施が 2023 年度前期のみ、2024 年度以降の該当事業の概要が不透明なことでありますが、創業サポート事業そのものの必要性はアフターコロナでこれ以上に高まっており、新たな事業に柔軟かつスムーズに移行していきたいと考えております。

6. 政策研究企画部

令和 4 年度は、次のワーキンググループ (WG) からなるプロジェクトチームを編成し中期計画等の検討・作成に取り組みました。

- ①ビジョン・ミッションの作成
- ②中期計画の立案
- ③新規事業の検討

④「ゆめおりハウス」プラットフォームの構築

プロジェクトメンバーは、政策研究企画部メンバーに、12月に行ったメンバー募集で応募いただいた協議会会員(4名)と志民塾卒塾生(1名)を加えた計19名です。検討は2月より開始しました。

【課題と評価】

「中間支援団体としての多様な新規事業の企画・実施」は進展ありませんでした。現在、新規事業検討WGで検討しています。

「協議会の今後5年、10年先の姿について全員参加を得たうえで議論し中長期計画を策定する」は、ビジョン・ミッション作成を包含した中期計画等の検討を開始しました。今後、素案の作成とブラッシュアップを進めてまいります。

7. 協議会創立20周年記念誌編集委員会

協議会は、2022年(令和4年)11月4日、創立20周年を迎えました。これを機に20周年記念誌「20年のあゆみ」を発刊するため、令和4年7月、理事を中心にプロジェクトチームを結成し、創立から20周年に至る過去の資料や写真を参考として、編集作業を開始しました。また、石森市長を始めとする多くの方の祝辞、山岡義典市民社会創造ファンド理事長の特別寄稿、関係団体及び金融機関の代表者の皆様からご寄稿を頂き、協議会への信頼と暖かい励ましの言葉を頂戴致しました。

令和5年1月初旬に記念誌製本が完成し、20周年記念式典(令和5年1月22日)において、全参加者に配布する事ができました。記念誌を通して、協議会の諸先輩や関係者の皆様のご苦勞・歴史を伺い知る事となり、また20年に亘る協議会の活動と実施事業への高い評価を得ることもできました。プロジェクト結成後、約半年間という短期間で、68ページに上る記念誌を完成させた事は、プロジェクトメンバーは言うに及ばず、協議会の皆様の多大なご協力の賜物と感謝申し上げます。

【課題と評価】

記念誌の完成と共に、プロジェクト作業の記録として、議事録、検討・参考資料、引用文献、記念誌そのもの等を1冊のファイルにまとめて保管し、また、電子ファイルでも同様の内容を社内システム内に保存して、次の時代に引き継ぐデータとして残した事は、協議会の貴重な財産となり、今後の活用が期待されます。

記念式典後、関係する団体や個人等に記念誌を配布し、20年間に亘る協議会活動の理解と評価を得る機会として、PR等に活用しています。なお、短期間での記念誌作成となったため、途中から編集に専門知識を持つ正会員を、プロジェクトメンバーの一員として参加して頂き、作業が大いにはかどりました。

8. 私の地元応援ファンド助成事業

明治安田生命保険相互会社からの寄付金を八王子市内の市民活動団体を対象として分配する事業を行いました。

8月の1か月間を募集期間としたところ多くの団体より応募があり、公正に審査した結果、4団体を決定し、5万円ずつ助成することとなりました。

この助成金の使いみちについては八王子市民活動協議会だより第105号(10月1日発行号)に掲載しそれぞれの団体の活動紹介とともにお知らせしました。

【課題と評価】

令和4年度は明治安田生命保険相互会社との協働が3年目となり、企業からの支援が継続していることに感謝していますが、今後はこのような事業モデルの助成金分配事業を新たに開拓することも検討したく考えています。

9. 八王子市学園都市大学(いちょう塾)への講座提供

協議会は毎年「八王子市学園都市大学(いちょう塾)」に無料の公開講座を提供しています。令和4年度は以下2つの講座を提供しました。

① コロナ時代のごみ問題を考えよう 11月26日(土)

講師:藤井誠一郎 大東文化大学法学部 准教授

② 国を救った外交と救えなかった外交～外交による平和の重要性～ 12月17日(土)

講師:竹元正美 (一社)国際文化教育協会理事長・元ウルグアイ大使・はちおうじ市民塾9期生)

第2号議案 令和4年度活動決算の件

1. 活 動 計 算 書

(税込)(単位:円)

自 2022年 4月 1日 至 2023年 3月31日

【経常収益】		
【受取会費】		
個人正会員会費	255,000	
団体正会員会費	300,000	
賛助会員会費	44,000	
協力会員会費	31,000	630,000
【受取寄付金】		
寄付金		10,000
【受取助成金等】		
指定管理料	24,030,000	
市受託料	2,613,604	26,643,604
【事業収益】		
自主事業収益	2,314,770	
受託事業収益	405,634	
その他事業収益	35,700	2,756,104
【その他収益】		
受取利息	117	
印刷代(コピー代・名刺代)	300,295	
雑収益	1,062,886	1,363,298
経常収益 計		31,403,006
【経常費用】		
【事業費】		
(人件費)		
給料手当(事業)	14,482,500	
業務管理費(事業)	189,634	
一般管理費(事業)	216,000	
会計管理費(事業)	590,000	
通勤費(事業)	1,031,895	
法定福利費(事業)	1,480,755	
人件費計	17,990,784	
(その他経費)		
業務委託費(事業)	285,054	
謝礼金(事業)	3,246,525	
印刷製本費(事業)	2,066,800	
会議費(事業)	444,879	
旅費交通費(事業)	199,889	
通信運搬費(事業)	1,036,682	
消耗品費(事業)	459,646	
書籍・購読料(事業)	8,690	
賃借料(事業)	1,091,908	
広告宣伝費(事業)	265,180	
保険料(事業)	30,299	
諸会費(事業)	39,500	
租税公課(事業)	2,535,514	
研修費(事業)	13,140	
支払手数料(事業)	57,750	
その他経費計	11,781,456	
事業費 計		29,772,240
【管理費】		
(人件費)		
謝金(管理)	883,338	
通勤費	127,736	
人件費計	1,011,074	
(その他経費)		
印刷製本費	34,505	
会議費	11,451	
旅費交通費	1,220	
通信運搬費	86,042	
消耗品費	72,208	
書籍・購読料	1,960	
賃借料	189,088	
保険料	29,044	
諸会費	23,375	
研修費	5,000	
支払手数料	13,602	
その他経費計	467,495	
管理費 計		1,478,569
経常費用 計		31,250,809
当期経常増減額		152,197
【経常外収益】		
経常外収益 計		0
【経常外費用】		
経常外費用 計		0
税引前当期正味財産増減額		152,197
当期正味財産増減額		152,197
前期繰越正味財産額		6,293,231
次期繰越正味財産額		6,445,428

2. 事業部別収支状況

(単位:円)

科目	支援センター	志民塾	地域デビューバー ティナー	いっしょに暮らし (わくわく広場)	広報	会員交流	部創業支援	管理部門	合計
I. 経常収益									
1. 受取会費								630,000	630,000
2. 受取寄附金								10,000	10,000
3. 受取助成金等	24,030,000	2,613,604	0	0	0	0	0	0	26,643,604
4. 事業収益	446,900	0	257,000	115,000	0	252,000	1,243,870	441,334	2,756,104
5. コピー代、その他収益	300,959	0	0	0	0	0	0	1,062,339	1,363,298
経常収益計(A)	24,777,859	2,613,604	257,000	115,000	0	252,000	1,243,870	2,143,673	31,403,006
II. 経常費用									
(1) 人件費									
給料手当	14,482,500	0	0	0	0	0	0	0	14,482,500
業務管理費		189,634	0	0	0	0	0	0	189,634
一般管理費		216,000	0	0	0	0	0	0	216,000
会計管理費	590,000	0	0	0	0	0	0	0	590,000
通勤交通費	1,002,015	29,880	0	0	0	0	0	0	1,031,895
法定福利費	1,480,755	0	0	0	0	0	0	0	1,480,755
人件費計(B)	17,555,270	435,514	0	0	0	0	0	0	17,990,784
(2) 事業費・管理費									
謝礼金	1,022,237	1,404,600	103,200	43,650	233,838	0	439,000	883,338	4,129,863
通勤費	0	0	0	0	0	0	0	127,736	127,736
印刷製本費	1,451,977	75,380	11,086	0	516,240	3,364	8,753	34,505	2,101,305
会議費	3,259	3,901	19,019	0	0	418,700	0	11,451	456,330
旅費交通費	131,855	62,920	1,000	0	0	1,180	2,934	1,220	201,109
通信運搬費	873,587	8,180	2,640	2,800	125,380	19,045	5,050	86,042	1,122,724
消耗品費	262,848	56,394	14,812	33,000	8,064	84,528	0	72,208	531,854
書籍・購読料	8,690	0	0	0	0	0	0	1,960	10,650
賃借料	838,408	66,500	113,000	24,000	0	0	50,000	189,088	1,280,996
広告宣伝費	0	241,780	0	0	0	0	23,400	0	265,180
保険料	20,414	9,885	0	0	0	0	0	29,044	59,343
諸会費	33,000	0	0	6,500	0	0	0	23,375	62,875
租税公課(消費税)	2,184,544	238,600	0	0	0	0	112,370	0	2,535,514
研修費	13,140	0	0	0	0	0	0	5,000	18,140
支払手数料	41,640	9,950	440	660	440	440	4,180	13,602	71,352
その他(業務委託費)	285,054	0	0	0	0	0	0	0	285,054
事業費・管理費計(C)	7,170,653	2,178,090	265,197	110,610	883,962	527,257	645,687	1,478,569	13,260,025
経常費用計(D = B + C)	24,725,923	2,613,604	265,197	110,610	883,962	527,257	645,687	1,478,569	31,250,809
III. 当期経常増減額(A - D)	51,936	0	-8,197	4,390	-883,962	-275,257	598,183	665,104	152,197

3. 貸借対照表・財産目録

貸 借 対 照 表

[税込](単位:円)
2023年 3月31日 現在

《資産の部》			
【流動資産】			
(現金・預金)			
普通預金	9,764,181		
預 金(基金口)	834,536		
現金・預金 計	10,598,717		
(売上債権)			
未収金	491,940		
売上債権 計	491,940		
(その他流動資産)			
前払金	104,356		
その他流動資産 計	104,356		
流動資産合計		11,195,013	
資産合計			11,195,013
《負債の部》			
【流動負債】			
未払金(消費税)	2,534,514		
未払金	2,172,961		
預り金	29,110		
前受金	13,000		
流動負債合計		4,749,585	
負債合計			4,749,585
《正味財産の部》			
前期繰越正味財産		6,293,231	
当期正味財産増減額		152,197	
正味財産合計			6,445,428
負債及び正味財産合計			11,195,013

財 産 目 録

[税込](単位:円)
2023年 3月31日 現在

《資産の部》			
【流動資産】			
(現金・預金)			
普通預金	9,764,181		
みずほ銀行	(2)		
多摩信用金庫①	(7,195,516)		
多摩信用金庫②	(1,761,731)		
西武信用金庫	(806,932)		
預 金(基金口)	834,536		
現金・預金 計	10,598,717		
(売上債権)			
未収金	491,940		
売上債権 計	491,940		
(その他流動資産)			
前払金	104,356		
その他流動資産 計	104,356		
流動資産合計		11,195,013	
資産合計			11,195,013
《負債の部》			
【流動負債】			
未払金(消費税)	2,534,514		
未払金	2,172,961		
預り金	29,110		
前受金	13,000		
流動負債合計		4,749,585	
負債合計			4,749,585
正味財産			6,445,428

4. 令和4年度(2022年度) 予算決算比較表

2022年 4月 1日から2023年 3月31日まで

	科目	2022年度予算額(A)	2022年度決算額(B)	差異	備 考
1	【経常収入の部】			A - B	
2	会 費 収 入	650,000	630,000	20,000	団体会員 個人正会員 賛助会員 協力会員
3	事 業 収 入	28,460,000	29,259,333	-799,333	
4	支援センター管理費収入	24,330,000	24,777,859	-447,859	指定管理料: 24,030千円
5	受託事業収入(志民塾)	2,700,000	2,613,604	86,396	八王子市より受託料
6	協議会自主事業収入	1,430,000	1,867,870	-437,870	会員参加費、女・若・シニア手数料
7	(地域デビューパーティー)	330,000	257,000	73,000	
8	(会員交流・いちようまつり他)	100,000	367,000	-267,000	
9	(女性若者シニア創業支援)	1,000,000	1,243,870	-243,870	
10	寄 付 金 収 入	100,000	10,000	90,000	
11	そ の 他 の 収 入	1,050,000	1,503,673	-453,673	受託事業収益、その他事業収益、雑収入
12	【経常収入合計】	30,260,000	31,403,006	-1,143,006	
13	【経常支出の部】				
14	事 業 支 出	28,950,000	29,772,240	-822,240	
15	支援センター事業費	24,330,000	24,725,923	-395,923	事業費、人件費、管理費等
16	受託事業費(志民塾)	2,700,000	2,613,604	86,396	会場費、講師・スタッフ謝礼、資料費等
17	協議会自主事業費	1,920,000	2,432,713	-512,713	
18	(地域デビューパーティー)	270,000	265,197	4,803	
19	(広報・会員交流・いちよう祭り他)	400,000	632,629	-232,629	広報年6回、交流会、いちよう祭り諸経費
20	(女性若者シニア創業支援)	550,000	645,687	-95,687	
21	(新規事業費他)	700,000	889,200	-189,200	20周年記念式典・交流会、20周年記念誌
22	管 理 費	1,310,000	1,478,569	-168,569	
23	人件費	240,000	883,338	-643,338	事務局謝金等
24	旅費・交通費	100,000	128,956	-28,956	諸会議出席交通費他
25	通信・運送費	300,000	86,042	213,958	電話代、郵送費、IT関連費他
26	備品・消耗品費他	670,000	380,233	289,767	倉庫借用費・消耗品、手数料他
27	【経常支出合計】	30,260,000	31,250,809	-990,809	
28	当期経常収支差額	0	152,197	-152,197	
29	前期繰越収支差額	6,293,231	6,293,231	0	
30	次期繰越収支差額	6,293,231	6,445,428	-152,197	

5. 令和4年度(2022年度) 監査報告書

特定非営利活動法人
八王子市民活動協議会
理事長 岡崎 理香 殿

5. 令和4年度監査報告書

私たちは特定非営利活動促進法第18条の規定に基づき、特定非営利活動法人八王子市民活動協議会の令和4年度(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)の事業報告書及び計算書類(財産目録、貸借対照表、損益計算書及び活動計算書)について監査を行いました。

私たちは理事の業務執行の状況に関する監査に当たり、定期的に協議会を訪問したり、社内システムで情報共有し、必要と認める場合には意見や質問をし、財産の状況に関する監査に当たっては、帳簿や証拠書類の閲覧、照合、質問等の合理的な保証を得るための手続きを行いました。

監査の結果、法人の業務は法令及び定款に基づき適正に執行され、会計処理は会計原則に則って適正に処理されているものと認められました。

よって、私たちは上記の事業報告書及び計算書類が特定非営利活動法人八王子市民活動協議会の令和5年3月31日をもって終了する事業年度の業務執行状況及び同日現在の財産の状況を適正に表示していると認めましたのでここに報告いたします。

令和5年4月20日

特定非営利活動法人
八王子市民活動協議会

監事 大山 健三 

監事 藤岡 一 

第3号議案 令和5年度事業計画の件

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

【令和5年度の基本方針】

新しい八王子市の総合計画「八王子未来デザイン 2040」が施行されました。この計画を策定するために市内37中学校区で、のべ800名以上の市民が参加してワークショップを行い、「めざす2040年の姿」を話し合いました。この計画では「未来を拓く原動力」は「地域自治」と「共創」にあるとしています。市民や多くの主体性ある団体が自立した活動で、ともに連携して未来に向けての新しい価値を創造する、まさしくこの活動をささえるために、また更に大きく広げるために、八王子市民活動協議会はこれまでも活動をしてきましたし、これからもその活動を続けて参ります。

コロナ禍もひとまず落ち着き、私たちの活動の態様、範囲も元に戻りつつあります。これまでの3年間の空白をこれから取り戻したい活動も多いでしょう。けれども、この3年間があったからこそその経験を活かして出来ることもあると思います。

協議会はこれまでの活動を未来へつなぎつむぐように、会員の皆さま、多くの市民活動団体とともに、未来を拓く豊かで幸せな地域社会実現のためのまちづくりに貢献していきたいと思います。今年度もその基本方針にそって事業を行って参ります。

【1】八王子市民活動協議会の運営組織

1. 理事会

①定例理事会:原則毎月1回開催

協議会の運営についての基本的事項、重要事項の検討や報告を行います。

②特別な審議事項や理事から開催要請があった場合に臨時理事会を開催します。

③5年度も理事研修会を開催します。(8月・12月予定)

2. 三役会

理事長、副理事長、事務局長、各事業部会担当長、支援センター長、その他都度理事長が議題検討に必要な人を指名して行います。

令和5年度は月1回、理事会前に開催を予定します。

3. (支援センター) 企画運営会議の開催

四半期に一度実施されるモニタリングの結果に基づき、支援センターの事業について検証、検討する。

次年度の支援センター事業について企画・計画する。

4. 情報セキュリティ委員会

センター、協議会の双方の情報セキュリティ強化のためにそれぞれ組織しています。5年度は前期、後期の2回開催を予定します。

【2】支援センター事業

◆八王子市市民活動支援センター事業基本方針

八王子市市民活動支援センターは、市民活動の中間支援組織として、地域で活動する団体や市民をサポートすることで、地域の活性化と市民の生きがいや充実度の向上を図り「豊かで幸せな地域社会実現のための協働のまちづくり」に貢献することを役割としています。

これまでもさまざまな手法を用いて、市民活動団体の基盤強化や信頼性、継続性をサポートする事業を行

い、また、市民や団体への啓発的な事業を行ってきました。

令和元年度の終わり頃から始まった未曾有の新型コロナウイルス感染症拡大により、国民全体が生活様式の変更を強いられ、市民活動団体にとってもその活動に大きな影響が出ました。令和2年度からの3年間は活動に制限があるなか、市民活動支援センターとしては、コロナ禍に対応した手法を試行し、団体や市民のコロナ禍の活動支援に貢献する事業を行ってきました。令和5年度は、コロナ禍もひとまず落ち着きを見せて行動制限もほぼなくなります。コロナ禍だった時期で得た強味は継続しながら、今年度は活動を控えていた人や団体の活動を以前に戻し、交流と協働・連携に重点を置いた市民活動支援事業を計画します。

当支援センターのビジョン「私たち一人ひとりがつながって、夢をカタチにできる八王子」を掲げ、多様な市民や団体との連携と協働により、引続き自立した市民力、地域力向上の実現に向け、市民あるいは市民団体が公益的あるいは社会貢献的な活動に参画する豊かな市民社会の構築をめざしていきます。

◆重点目標

- 目標 1. 市民活動支援センターは市民の自発的な社会貢献活動を積極的に支援し、促進することを目的とする施設です。そのために利用者が利用しやすく満足のいく施設環境づくりに努めます。
モニタリングや定期的なアンケート調査を実施し、市民や活動団体のニーズや施設利用の満足度を定期的に測ります。
新型コロナウイルス感染予防の課題に向けては、規制が緩和される今年度は、ウィズコロナと言われる社会状況を見据えた施設のあり方、事業を考えてまいります。
- 目標 2. 令和元年度に新設した地域・団体連携事業を十分に機能させることにより、市民、市民活動団体、地縁組織(町会自治会等)企業、大学、行政等多様なセクターと協働・連携してきたこれまでの実績をさらに深め、地域を包括的に支えるコーディネート環境づくりに努めます。
- 目標 3. 市民活動支援に必要な情報、資料の収集と提供の充実を一層図ります。
- 目標 4. 市民活動をより活発化、広範化するために担い手育成や活動支援のための啓発、講座運営を実施します。
- 目標 5. 市民活動団体支援の要となる業務は相談業務です。専門スキルのある職員を配置することによって法人設立、団体運営、組織作りなど多様な相談に応えることができますようにします。また、法律、税務、労務などの専門的相談に関しても弁護士、司法書士、税理士、社会保険労務士、行政書士等との連携により対応していく仕組みを活用します。
- 目標 6. ゆめおりファンドの運営に対して、市民活動の資源は「もの」「ひと」「資金」「情報」と言われますが、それらへの支援として「ゆめおりファンド」があります。現在は「もの」(寄付された物品提供)と「ひと」(プロボノとのマッチング)と情報の支援は行っていますが、将来的には資金支援を行える環境を研究してまいります。
- 目標 7. 地域や団体との連携や交流を図るため、また施設運用の向上のため、職員、スタッフの人材育成と適正な配置に努めます。
- 目標 8. 評価をPDCAサイクルに的確に反映します。
- 目標 9. ウィズコロナ、アフターコロナの新しい社会に向けた取組を進めます。
リモートでの会議、会合、イベントなど、コロナ禍で得た強みを活かすことは勿論、そこから生まれる新しい手法や企画にもチャレンジしていきます。そのための仕組みづくりを行ってまいります。

1. 企画運営会議（八王子市民活動協議会が主催）

原則として四半期毎に1回、企画運営会議を開催し、効果的な事業推進を討議し、市民活動を取り巻くニーズに対応した中長期的、未来志向で支援センターの運営について協議します。

2. 情報セキュリティ委員会

個人や団体の情報を預かる支援センターは、その情報の保護管理に大きな責任があるとの認識から、支援センター個人情報保護方針に基づき、情報セキュリティ委員会を定期的 to開催します。

また、監査人による監査で適正な情報管理のチェックを受けると共に、スタッフを対象にした教育研修会を実施し、法令及び支援センター情報セキュリティ管理マニュアル等の遵守を徹底します。

3. 八王子市環境マネジメントシステムへの対応

八王子市役所環境マネジメントシステムへの対応として、それぞれの部門や事業が環境配慮行動に取り組むとともに、支援センターの特性である団体活動サポートや様々な事業を通して環境マネジメントに取り組んでいきます。

具体的な取り組み方法として、PC電力削減、エアコン電力削減、未使用の部屋の消灯の徹底等について取り組みます。

4. 市民活動の促進のための施設の提供に関する事業

(1) 初めて訪れる人にもわかりやすく使いやすい空間づくり

- ・センターへ入りやすい、わかり易い表示にします

- (1 階案内スタンド、入口のスタンド表示の更新)

- ・オープンスペース(フリースペース)の明るい雰囲気づくり

(2) 市民団体を支援する環境づくり

- ・団体の会報コーナー、助成金コーナーをわかり易く充実させます。

- ・団体情報掲示板の充実

- ・フリースペースに自由に使用できる PC を設置します

- ・情報資料・図書コーナーの充実と管理

- ・団体用貸し出しロッカーの運用

(3) 施設の環境と危機管理

施設利用満足度の向上を目的に、清掃、照明、空調などの利用環境の適正管理に努めます。また、多数の市民や団体の方々に利用頂いていることから、ビル管理会社と連携し、消防法に定められた自衛消防訓練への参加や防火上必要な教育研修等への参加及び緊連絡網の整備により、危機管理能力を高め施設利用者の安全安心の確保に努めます。

5. 市民活動を行う者、市民、事業者、市及び地域の相互の連携並びに交流の促進に関する事業 (地域・団体連携交流事業)

(1) はちおうじNPOフェスティバル 2023 開催日:9月30日 会場:東京たま未来メッセ 展示場 A~D

八王子で活動するNPO団体を紹介するためにNPOフェスティバルを開催します。

このイベントでは、さまざまな団体が参加し、市民への市民活動の理解や紹介の場となるように、また交流の場となるように計画します。今年度も昨年好評だった東京たま未来メッセ(東京都立多摩産業交流センター)での開催を予定しています。

その名称のとおり、「市民活動のお祭り」ということで、楽しく市民活動・NPOを発信するイベントにします。
(ステージパフォーマンス、展示、物販、フードエリア、ワークショップなど)

(2) はちおうじNPO会議 2月開催 50名～60名

市内のNPO団体や企業、行政、大学等多様なステークホルダーが参加し、社会課題の解決に必要なこと、これからの市民活動のありかた等について考える場となるイベントを開催します。今年度は昨年度のテーマを引き継ぎ、これからのNPO(市民活動)に必要なこと＝「連携・協力・共創」をどう作り上げていくか、について話し合う会議を目指します。

(3) 地域・団体交流会 3回 各30名～40名 場所: 市内公共施設

協働・連携の場づくりのための市民活動団体の交流会

この交流会は、団体同士の横の連携だけでなく、企業や行政や公共的性質を持った組織にも呼びかけ、興味のある市民も募り、テーマ別、分野別等のさまざまな視点から開催していきます。

時期	テーマ・内容	定員	会場
7月 9日	子育てでつながる地域づくり ～みんなで育てる、みんなが育つ～	30～40名	学園都市ギャラリーホール
8月	防災でつながろう ～地域連携のまちづくり～	30～40名	市内公共施設
1月	住み慣れた地域でみんなと一緒に過ごす ～みんなで支え愛、ふれ愛の地域～	30～40名	市内公共施設

(4) 出張支所開設の試行

市民活動のより一層の広がりを目的として、中央地区以外での出張支所を開設します。これにより市内のさまざまな場所で活動する団体へセンターを周知し、市民活動の掘り起こしを行います。

事業	センター1日出張	回数	3回/年
第1回	5月20日 北部地区 団体対応・はちコミねっと・ファンド・交流の場等		
第2回	10月 東部地区 団体対応・はちコミねっと・ファンド・交流の場等		
第3回	3月 高尾地区 団体対応・はちコミねっと・ファンド・交流の場等		

(5) YouTubeを使った支援センター放送番組(偶数月隔月)

「とびだせ！市民活動」

オンラインをつかった市民活動紹介番組を定期的に配信して、市民活動、活動団体の紹介などを行います。各団体の紹介動画を流しながら団体代表やメンバーにインタビューし、団体を紹介します。その他、センターのイベント紹介などを行います。

6. 市民活動に係る情報の収集及び提供に関する事業

今年度も市民活動の情報センターとして、団体向けや市民向けのさまざまな情報を収集し、紙媒体やオンライン媒体を使って紹介していきます。

(1) 広報紙「SUPPORT802」

限られた紙面を出来るだけ有効に活かし、「市民活動」の情報提供の媒体紙として多くの市民団体のイベント情報などを取り上げ、市民が積極的に市民活動に関われる情報提供に努めていきます。

- ・年 6 回奇数月の発行、毎回 5,000 部(114 号～119 号)
- ・特集号の発行(9 月予定)

(2) メールマガジンの配信

Eメールを利用して「SUPPORT802 便り」として、支援センターからのお知らせやアクティブ市民塾の開催案内、助成金情報、市民活動団体のイベント情報などを、メールマガジンの配布希望者などへ毎月配信するほか、支援センターFacebook にもその都度、UPLしていきます。

(配信予定数)773 件(令和 5 年 3 月現在)

(3) 支援センターホームページの改善・維持

NPO法人や市民活動団体の様々な要望に対応すべく、適切な情報をわかりやすく随時発信するホームページを提供していきます。適切な情報をわかり易くお伝えできるようにページの構成などを見直し、システムを改善、維持します。今年度は、Web から会議室を予約できるシステムにできないか検討を始めます。

(4) 団体登録数の増加と支援

- 1.新規団体登録を促します。
- 2.はちコミねっとリニューアル時に移行の意思確認ができず「はちコミねっと」非表示になった団体にも引き続き再登録を促す。
- 3.登録ルールの見直し。
 - ・団体情報の更新についての対応
 - ・登録ルールの見直しと登録用紙の見直しをして、団体登録しやすくする。
 - ・団体登録時の説明にも丁寧に対応する。

(5) はちコミねっとの保守および活性化

NPO法人および市民活動団体によるはちコミねっとの活用を促進し、より多くの団体が情報を登録し、より多くの市民に届けられるよう努力します。このための定期的な講習会、個別講習会、および市民企画事業補助金採択団体向け講習会を開催します。

- ・はちコミねっとの活用促進
定期的な講習会、個別対応も丁寧に行う
- ・はちコミねっとの周知。
広報紙やチラシ、SNS などを利用して「はちコミねっと」を周知させる工夫を施す。

(6) SNS等の活用

SNSを活用した情報発信を行うことで、ホームページや「はちコミねっと」と連動し、センターのさまざまな取組みを効果的にアピールします。

7. 市民活動に係る啓発及び人材育成に関する事業

団体の基盤、信頼性、広報力等運営スキルを強化する事業を行います。また、市民に向け市民活動の紹介や啓発となる事業を行います。

(1) パワーアップ講座 全 6 回 各 15 団体

市民活動団体がスキルアップする連続的な講座を行います。また、参加団体同士の交流の場と

なるような開催形式とします。

No.	時期	テーマ	補足
1	8 月	強い組織をつくる ビジョン・ミッションを考えよう	団体を立ち上げるのに必要なこと
2	9 月	市民活動の運営と継続 持続可能な組織づくり	高齢化、世代交代、会員減少、分裂等
3	10 月	公益的活動団体を法人化する	さまざまな法人格の特徴
4	11 月	上手な会議の進め方	ホワイトボードミーティングの進め方
5	12 月	団体の資金調達	会費、補助金、助成金、寄付の獲得
6	1 月	プロボノ活用と他団体との連携	交流、協力、協働を促進

(2) アクティブ市民塾 全 6 回 各 10 名～30 名

アクティブ市民塾は 2003 年 10 月にスタートし、これまでは市民と市民活動団体との交流を通じて「出会い」、「学び」、「共感」、「団体入会」の機会を生み出す場としての役割を果たしてきました。令和 5 年度は上記役割に加え、コラボレーションを希望する団体には、それを実現する機会とすることも考えます。

時期	テーマ・内容	定員	会場
5 月	まほうのほうき(Yottette)	12 名	現地
7 月	障害のある人と地域を結び、社会参加 と就労を支援する様々な取り組み ・多摩草むらの会(予定)	20 名	現地
10 月	里山農業クラブ(予定)	会場 20 名	現地
12 月	つばめ塾	20 名	現地
2 月	ノルディックウォーキング(予定)	12 名	支援センター
3 月	パフォーマンス集団ヨロコンデ(予定)	20 名	現地

(3) 支援講座 全 9 回 各 10 名～30 名 オンライン併用の場合あり

市民活動団体向けに活動の支援となる講座を行います。今年度もセンタースタッフが自分が担当する分野や得意な分野を企画し、自ら講師にもなります。

団体が活動するにあたって、今必要な知識やすぐに役立つ内容を取り上げます。

回・時期	テーマ・内容	定員	会場
1, 5 月	NPO 活動に役立つ、簡単チラシづくり	12 名	支援センター
2, 6 月	いまさら聞けない ZOOM 徹底解説(仮)	16 名	支援センター
3, 6 月	市民活動団体のホームページづくり1	12 名	支援センター
4, 7 月	市民活動団体のホームページづくり2	12 名	支援センター
5, 8 月	Google フォームを使いこなそう	14 名	支援センター
6, 10 月	広報紙をつくってみよう	14 名	支援センター
7, 11 月	活動紹介に役立つ動画撮影・編集の テクニック	12 名	支援センター
8, 12 月	グループウェアの使い方	12 名	支援センター

(4) 実践講座 1 回 30 名～50 名

市民向けにNPOや市民活動の普及や啓発となるような講座を行います。

今年度は SDGs カードゲームを使って、サステナブルなまちづくりを体験します。夏休み親子企画と

し小中学校の児童・生徒の参加も大歓迎、多世代で未来のまちづくりをシミュレーションします。

時 期	テーマ・内容	定 員	会 場
7月 29 日 夏休み企画	SDGs カードゲームで未来の八王子を 体験！ ～みんなで SDGs なまちづくりに挑戦し よう～	40 名	学園都市センター 11 階 ギャラリーホール

8. ゆめおりファンド事業

(1) ファンド事業(物品支援等)

企業、大学、団体、市民の方々から寄付いただいた物品をNPO・市民活動団体へつなぎます。また、CANPANの活用を周知して登録者を増やします。さらに資金面から支援するしくみも検討します。

- ①「ゆめおりファンド」の認知度・利用率の向上を目指す
- ②「はちコミねっと」との連携
- ③寄付企業との関係強化 一度きりには終わらないよう関係を継続する工夫を行う
定期的な連絡や広報紙等の発送、感謝状の贈呈

(2) ファンド事業(人財支援)

団体のプロボノの活用や市民のプロボノの参加等を促進します。プロボノ登録者、活用団体を増やすための周知イベントなども予定します。

- ①プロボノプロジェクト件数 3 件以上
- ②周知イベント・プロボノ説明会・パワーアップ講座でのPR・プロボノ情報交換会
- ③団体ニーズの把握、信頼関係の構築推進
- ④同じようなことをしている他の行政部署との棲み分けと連携
- ⑤企業との協働推進
- ⑥プロボノワーカーとの関係強化

(3) 団体情報開示の支援

- ①「ゆめおりファンド」認証・登録団体の見直し、認証盾の贈呈
- ②スタートアップ団体への支援
- ③CANPAN団体情報登録や更新、★増加支援

9. 市民活動に係る相談に関する事業

- ・相談業務は相談者に寄り添い、受け止めることをモットーに対応します。
- ・相談内容の情報は職員内で共有し、職員のコーディネート能力のレベル向上に努めるとともに、相談者のさまざまなニーズに応える体制を整えます。
- ・様々な知識、経験、コーディネート能力が求められるため、外部研修への積極的な参加、多様な団体との交流を通し、スタッフのレベル向上に努めます。
- ・令和4年度に改訂した「NPOマニュアル」を活用した相談の実施
- ・会計、財務、労務、税務等の専門的相談に対応し、司法書士、行政書士、税理士など専門家による相談も行います。
- ・NPO 活動団体が多い東部地区や市民活動支援センターに遠い地区で出張支援センターを開設します。

相談業務を中心に、団体の役に立つ講座なども企画します。(年 2～3 回程度)

10. 市民活動に係る調査及び研究に関する事業

- ・中間支援施設として、ニーズと期待に対応したサービス向上のため、開催する諸講座の「参加者アンケート」の実施をします。
- ・「利用者満足度調査」、モニタリング結果等を検証し、具体的事業の効果的推進に活かします。
- ・他の市区町村の情報や事例を収集することにより、中間支援施設としてあるべき姿へと改善を行います。
- ・必要に応じて、団体や市民へのアンケートやヒアリング等のNPOニーズ調査を行います。

11. モニタリングへの取り組み

「協定内容の履行を確保し、市民に対して質の高いサービスの提供を実現するため」に行われているモニタリングへの取り組みは、協定事業の遂行とともに、独自計画を付加した年度事業計画の効果的推進により、利用者評価に耐えうる施設運営、サービス提供に努めます。また、評価結果はこれを真摯に受け止め、スタッフで共有し、事業運営に活かします。

12. 総務関連部門計画

- (1) 適正な文書管理
- (2) 施設管理(付帯施設・機器・物品の管理、整備)
- (3) 適切な経理処理(給与計算・コピー収入管理・物品購入)
- (4) 適正なスタッフ出退勤管理
- (5) 指定管理者モニタリングへの適切な対応
- (6) 「地域参加支援に関する情報交換会」への参加
- (7) 「8 市・市民活動連絡会」への参加
- (8) 大学コンソーシアム、大学、大学生との連携、交流の強化
- (9) 大学インターンシップ及び市内中学校職場体験の受け入れ
- (10) 支援センター視察・見学来館者の受け入れ、対応
- (11) 市内のイベントへの参加・出展
- (12) スタッフ教育、研修の実施(外部研修、内部研修)
- (13) 市内の多様な団体やセクターとのこれまで以上の連携

【3】はちおうじ志民塾

はちおうじ志民塾 15 期の開講・運営

第 5 期より市から運営を受託している「はちおうじ志民塾」は今期15期を迎えます。

①開催時期・回数

- ・令和 5 年 9 月～令和 6 年 2 月(予定)
- ・13 講座

② カリキュラムの内容

・講座内容については「自分を知る」「地域を知る」「市民活動・課題解決方法を知る」の categories に分類しカリキュラムを組んでおり、この基本線には変更ありません。また、内容についても、市民活動、NPO への導入、地域の活動担い手育成には十分な内容と好評をいただいているところであり、限られた予算の中で

主催である市とともに、受講生のニーズに即したプログラムにしていきます。

④ 卒塾生のフォロー体制の充実

・292名の卒塾生のフォロー体制の整備にも協議会、支援センターはじめ関係団体やOBの協力をいただきながら更に取り組んで行きたいと思います。

【4】協議会の自主事業

1. 事務局(総務)

(1) 会員管理

- ①会員の増加に努めます。
- ②会員の協議会活動参画や交流の機会を増やします。
- ③新しい正会員証を発行します。
- ④メールで情報を配信します。

(2) 新年交流パーティー

10年会員・20年会員在籍者への感謝状の贈呈、多額寄付者への感謝状の贈呈及びゆめおりファンド認証盾授与を行います。また、会員や関係団体との交流を図ります。

(3) 理事研修

協議会規定集の読み込み、個人情報保護法、各種ハラスメント研修を実施します。

2. 広報部

(1) 協議会だより

- ・偶数月(4月、6月、8月、10月、12月、2月)に発行します。
- ・一人でも多くの方に読んでもらえるように、会員ニーズに沿った情報提供を心がけます。

(2) ホームページ・SNS(facebook等)

- ・協議会だよりと連動し、正確な内容と迅速な更新に努めます。

(3) 協議会パンフレット

- ・ワーキンググループが審議中の「協議会のビジョンとミッション」答申内容に沿って改訂します。

3. 交流推進部

(1) 地域デビューパーティー^{はちおうじ}802

多くの多世代の市民活動参加者を目指して、2024年3月10日オクトーレ学園都市センター12階イベントホール、第1～5セミナー室で開催します。ライブ開催&オンライン配信のハイブリッド型開催の充実を図る為、多世代のボランティアスタッフを公募し、出展団体&参加市民との交流が、実質的・継続的な市民活動の拡大に繋がる内容を目指します。皆様のご協力をお待ちしています。

(2) 八王子いちようまつり「わくわく広場」

いちようまつり祭典委員会の予定に従って「わくわく広場」の運営を継続する場合、より多くの団体が参加できるよう、早めに参加団体募集をはじめ、ボランティア募集も視野に入れたと思います。

(3) その他

支援センターの事業「NPO フェスティバル」のスタッフとして、協議会の理事・会員が協力してイベントをサポートします。

4. 地域連携ネットワーク部

- (1) 一般社団法人八王子自治研究センターと共催で、「第15回共助のまちづくりシンポジウム」を開催します。
- (2) 昨年度から引き続き、多くの団体の居場所、プラットフォームづくりのための検討を行います。

5. 女性・若者・シニア創業サポート事業アドバイザー事業

令和5年度(2023年度)の創業支援部の事業計画は、前年度の課題およびデータ分析を踏まえて、以下の5点としています。

- ①前年度と同等の回数で、よりICT/DX活用して受講者に魅力あるセミナー開催
- ②生成AI(ChatGPT)などICT/DXの積極活用と講師のレベルアップ
- ③セミナー参加者とのコンタクトを増やし、ハンズオンサポートにつなげる
- ④セミナー運営の負担の均等化
- ⑤八王子近隣地域におけるより広範囲な創業支援活動の実施

6. 政策研究企画部

令和5年度は、次の課題、特に1～3を優先事項として取組みます。

- 1. ビジョン・ミッションの作成とその浸透
- 2. 9月を目標に中期計画素案を作成、年度内はブラッシュアップ
- 3. 新規事業を検討し企画を提案
- 4. 行政・企業・大学・団体などとの連携・共創のあり方進め方について検討
- 5. 団体や会員と顔の見える関係づくり

7. 学園都市大学(いちよう塾)への公開講座提供

今年度も前期、後期一回ずつの講座を提供します。

- ・前期:都筑 学 氏(中央大学名誉教授・はちおうじ志民塾9期生)
「江戸から小千谷(新潟県)へと旅した浮世絵」
- ・後期:山下 祐介 氏(東京都立大学教授)
「人口減少と地域コミュニティ～八王子の未来を考える～」

第4号議案 令和5年度活動予算の件

1. 令和5年度(2023年度) 予算表

2023年 4月 1日から2024年 3月31日まで

	科目	2023年度予算額(A)	2022年度決算額(B)	差異	備 考
1	【経常収入の部】			A-B	
2	会 費 収 入	650,000	630,000	20,000	団体会員 個人正会員 賛助会員 協力会員
3	事 業 収 入	29,030,000	29,259,333	-229,333	
4	支援センター管理費収入	24,980,000	24,777,859	202,141	指定管理料24,430千円、
5	受託事業収入(志民塾)	2,500,000	2,613,604	-113,604	八王子市より受託料
6	協議会自主事業収入	1,550,000	1,867,870	-317,870	会員参加費、女・若・シニア手数料
7	(地域デビューパーティ)	250,000	257,000	-7,000	
8	(会員交流・いちようまつり他)	300,000	367,000	-67,000	いちよう祭り、新年会他
9	(女性若者シニア創業支援)	1,000,000	1,243,870	-243,870	
10	寄 付 金 収 入	50,000	10,000	40,000	
11	そ の 他 の 収 入	1,400,000	1,503,673	-103,673	受託事業収益、その他事業収益、雑収入
12	【経常収入合計】	31,130,000	31,403,006	-273,006	
13	【経常支出の部】				
14	事 業 支 出	29,750,000	29,772,240	-22,240	
15	支援センター事業費	24,980,000	24,725,923	254,077	事業費、人件費、管理費
16	受託事業費(志民塾)	2,500,000	2,613,604	-113,604	会場費、講師謝礼、資料費等
17	協議会自主事業費	2,270,000	2,432,713	-162,713	
18	(地域デビューパーティ)	270,000	265,197	4,803	
19	(広報・会員交流・いちようまつり他)	500,000	632,629	-132,629	広報年6回・新年会等会員交流
20	(女性若者シニア創業支援)	500,000	645,687	-145,687	
21	(新規事業費、事務所移転準備費用他)	1,000,000	889,200	110,800	(令和4年度は20周年記念式典・交流会、20周年記念誌)
22	管 理 費	1,380,000	1,478,569	-98,569	
23	人件費	860,000	883,338	-23,338	事務局謝金等
24	旅費・交通費	120,000	128,956	-8,956	諸会議出席交通費他
25	通信・運送費	100,000	86,042	13,958	電話代、郵送費他
26	備品・消耗品費他	300,000	380,233	-80,233	倉庫借用費・消耗品、手数料他
27	【経常支出合計】	31,130,000	31,250,809	-120,809	
28	当期経常収支差額	0	152,197	-152,197	
29	前期繰越収支差額	6,445,428	6,293,231	152,197	
30	次期繰越収支差額	6,445,428	6,445,428	0	

令和4年（2022年）度利用者満足度調査報告書

【はじめに】

八王子市市民活動支援センターは公益的な市民活動を志す市民や多くの市民活動団体に多様な支援を提供するサービス事業を行っております。

当センターでは、施設利用者の率直な声と評価を把握する手段として「利用者満足度調査」を平成18年（2006年）から毎年行っております。

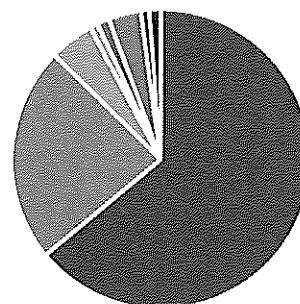
本年度も、一昨年から引き続き新型コロナウイルス感染症の流行と対策もあり、市民活動団体の活動についての影響も見受けられましたが、このような中でも多くの利用者からの調査の協力をいただき、コロナ関連対策についてのご意見もいただきました。当センターとしては、これらの声を運営の参考意見として役立てていきたいと考えています。

調査概要

- 1.調査期間：2023（令和5年）年2月2日～3月10日
- 2.調査回答数：210（前年度104）
- 3.調査対象者：支援センターを利用する団体に個人毎に無記名でアンケート依頼
- 4.調査結果の公表：ホームページにて公表

Q1.来館目的をお聞かせください（複数回答有）

	数量	率
①会議室の利用（主催団体）	146	64.0%
②会議室の利用（講座参加者）	53	23.2%
③会議室の予約	11	4.8%
④情報収集	2	0.9%
⑤印刷機・コピー機の利用	3	1.3%
⑥フリースペースの利用	8	3.5%
⑦相談	2	0.9%
⑧その他	3	1.3%
合計	228	



- ①会議室の利用（主催団体）
- ②会議室の利用（講座参加者）
- ③会議室の予約
- ④情報収集
- ⑤印刷機・コピー機の利用
- ⑥フリースペースの利用
- ⑦相談
- ⑧その他

来館目的の自由記入欄

- ・利用登録
- ・子ども達の学習支援で利用している。
- ・ボランティアサークルの研修に使わせてもらっています。

※これらの取り組みについて、ご意見をお聞かせください。

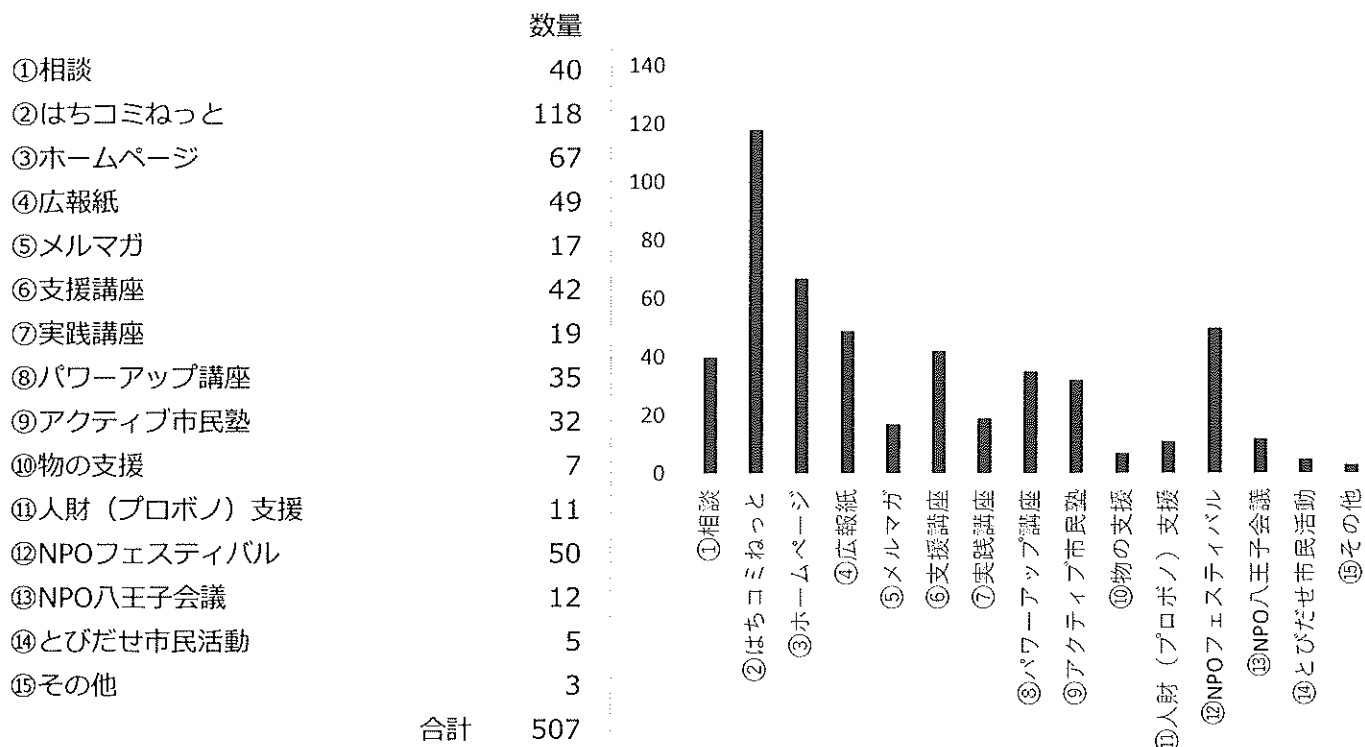
- ・初回のご説明をわかりやすく説明していただきました。
- ・とても親切、丁寧に対応していただいております。
- ・なかなか集まれる場所がないので助かっています。
- ・今まで全然知りませんでした。こんないいところがある。
- ・インターネットでの申込みも可能になればありがたいと思います。
- ・知らなかった
- ・使わせていただいて助かります。
- ・無料で使えることが一番良い

- ・今回初めてセンターを知りました。
- ・ありがたいです。
- ・交流会の継続
- ・これからも毎月会議と勉強会があるので使用させていただけるの大変ありがたいです。
- ・利便性がとても良い場所で大変ありがたく思っています。
- ・すばらしいことだと思います。
- ・いつもありがとうございます
- ・満足しています
- ・満足
- ・とても便利でありがたく利用させていただきます
- ・会議室が利用しやすいのでありがたいです
- ・活用させていただいてありがたいです
- ・無料なので利用しやすい

主催者団体（団体のメンバー）としての会議室利用が64%、講座等の参加者が23.2%となり、合わせると会議室利用の目的で来所してアンケートを回答した市民の割合が87.2%となった。

Q 2.当センターの取り組みについて知っているものに○をつけてください。

（複数回答可）



※これらの取り組みについて、ご意見をお聞かせください。

- ・母が志民塾を利用してとても生き生きとしてきたのを見ています、この様な機会がもてて良かった。
- ・参加してみたいとは思っているのですが……。
- ・おじゃまするまで活動内容を知りませんでした。
- ・市民活動支援の立場から非常に有効だと思います。
- ・活発な活動をされていると思います。

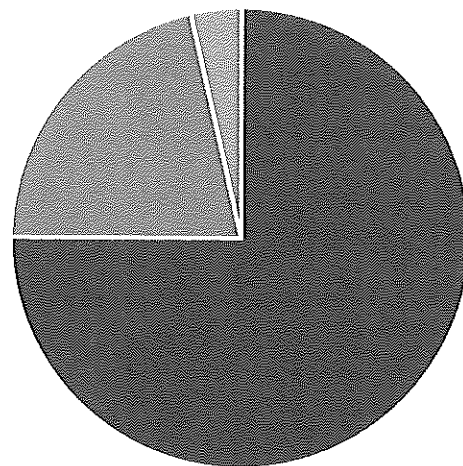
アンケート対象者が来館者であるが全体210のうち118（56%）が、はちこみねっとを知っているという結果が出たことは知名度が向上していると評価できる。また、ホームページと広報紙を知っている回答はそれぞれ67、49あり、当センターの広報活動のある程度認識していると思われる。なおNPOフェスに関しては23.8%の認知度であった。

Q 3.事務所、フリースペースについて

	数量	率
①満足	148	75.1%
②やや満足	42	21.3%
③やや不満	7	3.6%
④不満	0	0.0%
合計	197	

※具体的なご意見をお聞かせください。

- ・本日は10時前に開場していただきありがとうございました。
10時前はダメな時がありましたので。
- ・自動販売機があると助かります。
- ・八王子市民に広く知られていない。
- ・少し狭い
- ・パーティションが欲しい。もう少し広さがあれば。
- ・もう少し広ければ
- ・みなさんとても親切
- ・パソコンの接続端子がやや古く差し込みにくい
- ・フリースペースはパーティションがあればもっと良い
- ・もう少し広ければ



■ ①満足 ■ ②やや満足 ■ ③やや不満 ■ ④不満

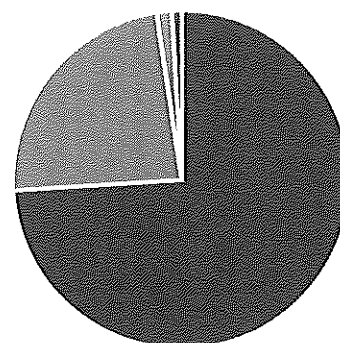
「満足」と「やや満足」を合わせて96.4%であった。意見として広さに関する指摘が4件あった。

Q 4.会議室について、当てはまるものをお選びください

	数量	率
①満足	151	74.0%
②やや満足	48	23.5%
③やや不満	3	1.5%
④不満	0	0.0%
⑤利用経験無し	2	1.0%
合計	204	

※具体的なご意見をお聞かせください

- ・冷暖房設備等など、また明度も十分で感謝です。
- ・明るくて最後の消毒用の用具もあり助かりました。
- ・親切
- ・少し狭い感じ
- ・もう少し予約が簡単にしていただけると嬉しい。
- ・無料というのでびっくり。広くてきれいで机等もそろっていてとてもありがたいです。
- ・狭いところが残念。



■ ①満足 ■ ②やや満足
■ ③やや不満 ■ ④不満
■ ⑤利用経験無し

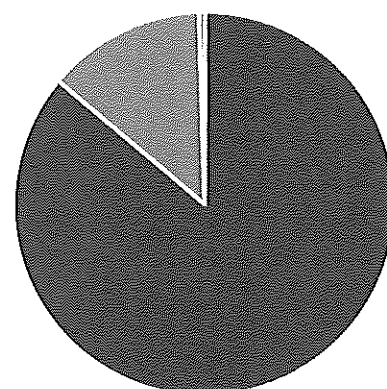
- ・無料でありがたいです。
- ・少し狭い 部屋数が少ない
- ・もう少し広いとよい
- ・ネット環境が悪い
- ・各団体の使用にはちょうど良い広さ静けさ
- ・もう少し広い部屋がひとつあればよい
- ・もう少し会議室があったら
- ・大きい鏡が欲しいです
- ・もう1枚大きい鏡がほしいです
- ・暑いとき寒い時あり部屋の音頭の調節をお願いしたい
- ・もう少し広いとよい

「満足」と「やや満足」を合わせて97.5%であり、好評であることがうかがえる。また、より広い会議室を希望する意見が6件、ちょうど良い広さ、あるいは広いと感じる意見が2件あった。

Q5. スタッフの電話や接客などの対応について

当てはまるものをお選びください

	数量	率
①満足	174	86.1%
②やや満足	27	13.4%
③やや不満	1	0.5%
④不満	0	0.0%
合計	202	



■ ①満足 ■ ②やや満足
■ ③やや不満 ■ ④不満

※具体的なご意見をお聞かせください。

- ・とても丁寧に説明をして下さり講座等も案内していただきました。
- ・ケーブル等いつも貸してくださりありがとうございます。
- ・大変よくして頂いております。感謝いたしております。
- ・大変に丁寧に應對していただき、感謝でございます。安心いたしてます。
- ・会場申込時に電話の接続時切れてしまい、かけると通話中となり手間が大変でした。
- ・親切に應對していただいております、
- ・ほど良い。でもすごくフレンドリー。良い意味で。しっかり案内してもらえるし。
- ・たいへん親切
- ・わからない。
- ・大変親切でありがたい。
- ・電話の対応がとても丁寧で好感がもてます
- ・親切です
- ・とても対応は良い。柔軟性をもって対応してくれている。

申込などをしたことがないのでスタッフの方との接点がありませんが

「満足」と「やや満足」を合わせて99.5%であり、多くの来所者が満足と答えています。また自由意見では、「丁寧」、「親切」という言葉がそれぞれ3個、4個あり、スタッフの運営姿勢が好評価を得ている結果だと思われる。

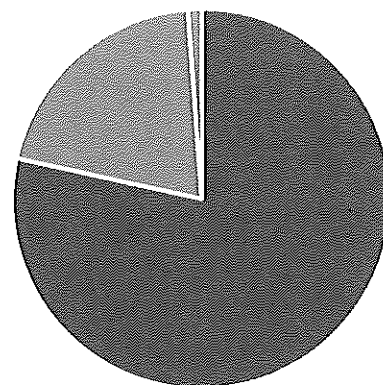
Q 6.会議室利用時の際の貸し出し機材について

当てはまるものをお選びください

	数量	率
①満足	131	78.4%
②やや満足	34	20.4%
③やや不満	2	1.2%
④不満	0	0.0%
合計	167	

※具体的なご意見をお聞かせください。

- ・利用したことはありません。
- ・借りていません。
- ・わからない
- ・プロジェクター
- ・要望に応じて対応
- ・機材無し
- ・まだよくわかりません。スクリーンや白板やTV画面もあって充実していそうな印象。
あっ、あるんだと見てわかるのいいですね。
- ・未だ使ってませんのでコメントできません。
- ・まだよくわからない。
- ・わからず
- ・貸し出し機材のリストを掲示しておくとか次回利用時に便利。
- ・姿見（鏡）がもう1枚あるとありがたいです
- ・姿見がもうひとつほしい
- ・WiFiの無線接続をお願いしたい。



■ ①満足 ■ ②やや満足
■ ③やや不満 ■ ④不満

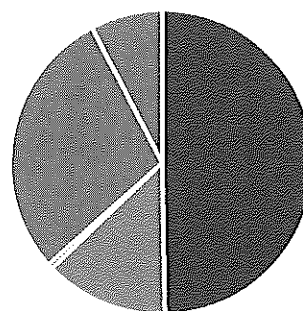
「満足」と「やや満足」を合わせて98.8%であるが、自由意見では利用していない立場での感想がいくつかあった。

Q 7.市民活動やNPOに関する相談対応について当てはまるものをお選びください

	数量	率
①満足	91	49.7%
②やや満足	24	13.1%
③やや不満	1	0.5%
④不満	0	0.0%
⑤相談経験無し	53	29.0%
⑥相談を知らない	14	7.7%
合計	183	

※具体的なご意見をお聞かせください。

- ・わからない。
- ・むしろ相談ができることを外に対してPRすれば良いと思う



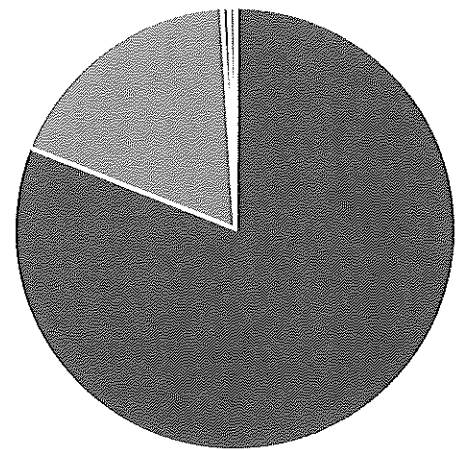
■ ①満足 ■ ②やや満足
■ ③やや不満 ■ ④不満
■ ⑤相談経験無し ■ ⑥相談を知らない

回答者の中で「相談経験無し」あるいは「相談を知らない」を合わせると36.7%となった。

Q 8.当センターを利用した全般的な満足度について

当てはまるものをお選びください。

	数量	率
①満足	162	81.0%
②やや満足	36	18.0%
③やや不満	1	0.5%
④不満	1	0.5%
合計	200	



■ ①満足 ■ ②やや満足
■ ③やや不満 ■ ④不満

※具体的なご意見をお聞かせください。

- ・ 使用料が無料なところがよい。
- ・ もう少し部屋が多く利用がもっと自由にできるといい
- ・ 駅の近くで市民の活動を支援してくれる施設はすごく貴重な場所です。
- ・ 広くて明るくて静かで大変満足しました。
- ・ いろんな会で使わせていただき、駅に近く無料は助かります利用の条件などがよくわからない。
- ・ 始めてですがとても使いやすくご親切で雰囲気よかったです。
- ・ 個室になっているので使いやすいです。
- ・ 様々なサポートを提供してくれるので考えが広がりありがたいと思います。
- ・ スタッフの皆様の対応がちゃんとしていてありがたいです。
- ・ 親切にさせていただいております
- ・ 駅から近い
- ・ 会議室無料はありがたい。
- ・ 無料でお借りできて本当にありがたいです
- ・ いつもお世話もに待って便利に利用させていただいています
- ・ いつも気持ちよく使わせていただいております

「満足」と「やや満足」を合わせて99%であり、ほぼ全員から満足であるという回答を得た。自由意見では無料という言葉4件あった。

Q 9.新型コロナウイルス感染症対策に関連して、当センターへご意見をお聞かせください。

- ・ とても丁寧に対策されている為、安心感がある。
- ・ 特にありません。
- ・ 今までで良い。
- ・ いつもありがとうございます。
- ・ 高齢利用者も多いので従前と同じレベルの対策を当面続けた方が良いと思います。
- ・ 丁寧な対策ありがとうございます。
- ・ いつも気持ちよく利用させていただいています。
- ・ 感染対策がしっかりされていて安心して利用できます。
- ・ よいと思います。

- ・今のままで満足です。
- ・体温検査は不要
- ・特に無し
- ・良好
- ・貴センターの指示に不満はありません。
- ・受付でコロナ感染対策をやっている。
- ・今までの対応ご苦勞様でした。気を許さず注意しましょう。
- ・きちんとなさっていると思います。
- ・よろしいと思います。
- ・不明
- ・今の感じで良いと思う。
- ・アクリル板の支えが弱い。
- ・検温と消毒ができてよいと思います。
- ・しっかりとやっていてよいと思う。
- ・体温測定が一度で測れずに難しい。
- ・充分できている。
- ・部屋の換気等を対策されていると思います。
- ・感染防止対策がよくとられていて安心
- ・対策は良いと思います。
- ・とても適切な対策をとっていただきました。
- ・適切な対処でした
- ・大変良くやっていただと思います。ありがとうございます。
- ・今の対応で良いと思います。
- ・いつもありがとうございます
- ・アクリル板のついたてが撤去された現在の状態で満足しています
- ・よくコントロールしておられると思う
- ・もう普通でいいのではないかな？
- ・満足しています
- ・検温ついたてなど十分の対応だと思います
- ・よくやってくださっている
- ・アクリル板が無くなってスッキリした
- ・特に問題無し
- ・現状のままで良いと思います

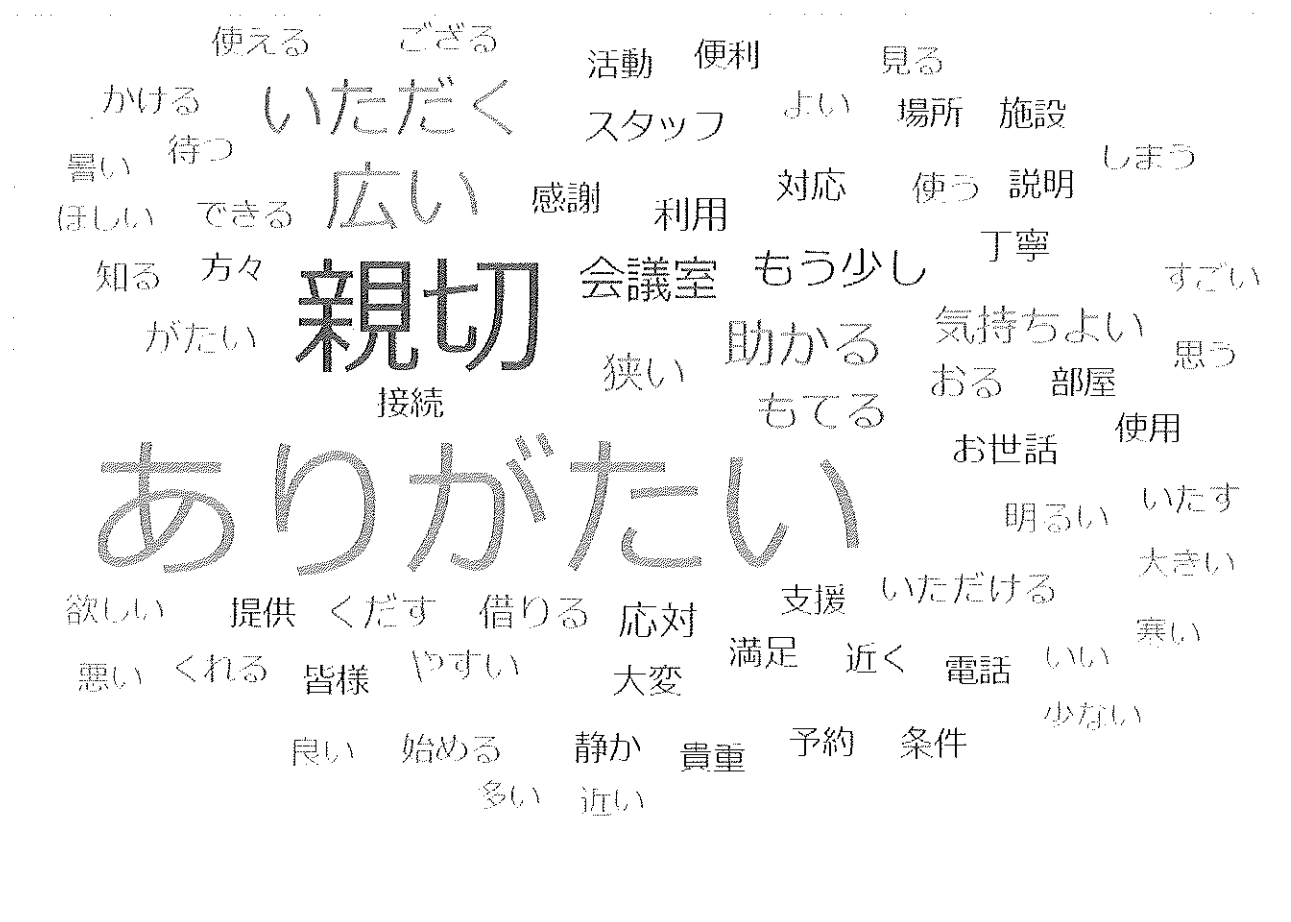
Q10.当センター全般に対するご意見・ご要望がありましたら ご自由にお書きください。

- ・部屋の予約をネットでできるようにして抽選にして欲しい
- ・長きにわたり努力されておられるスタッフの方々に感謝いたします。男性の方、女性の方皆様のおだやかで確かなおはたらきぶりを拝見してスタッフの方々相互の和の尊さを思います。スタッフの方々に感謝いたします。
- ・いつもお心にかけていただき事細かに応対していただきまして皆様ひとりひとりの方々お礼申し上げます。
- ・会議室の予約が1回ずつしかできないのが少し面倒だが無料なので仕方ないと思います。
- ・始めて利用させていただきました。この先何度かお世話になる予定です。
- ・こんな素晴らしい部屋をお借りでき幸運です、これからもずっとよろしくお願いします。
- ・継続的に使いたいときにはJUST2か月前でなくても予約申し込みしていただけるとありがたいです。

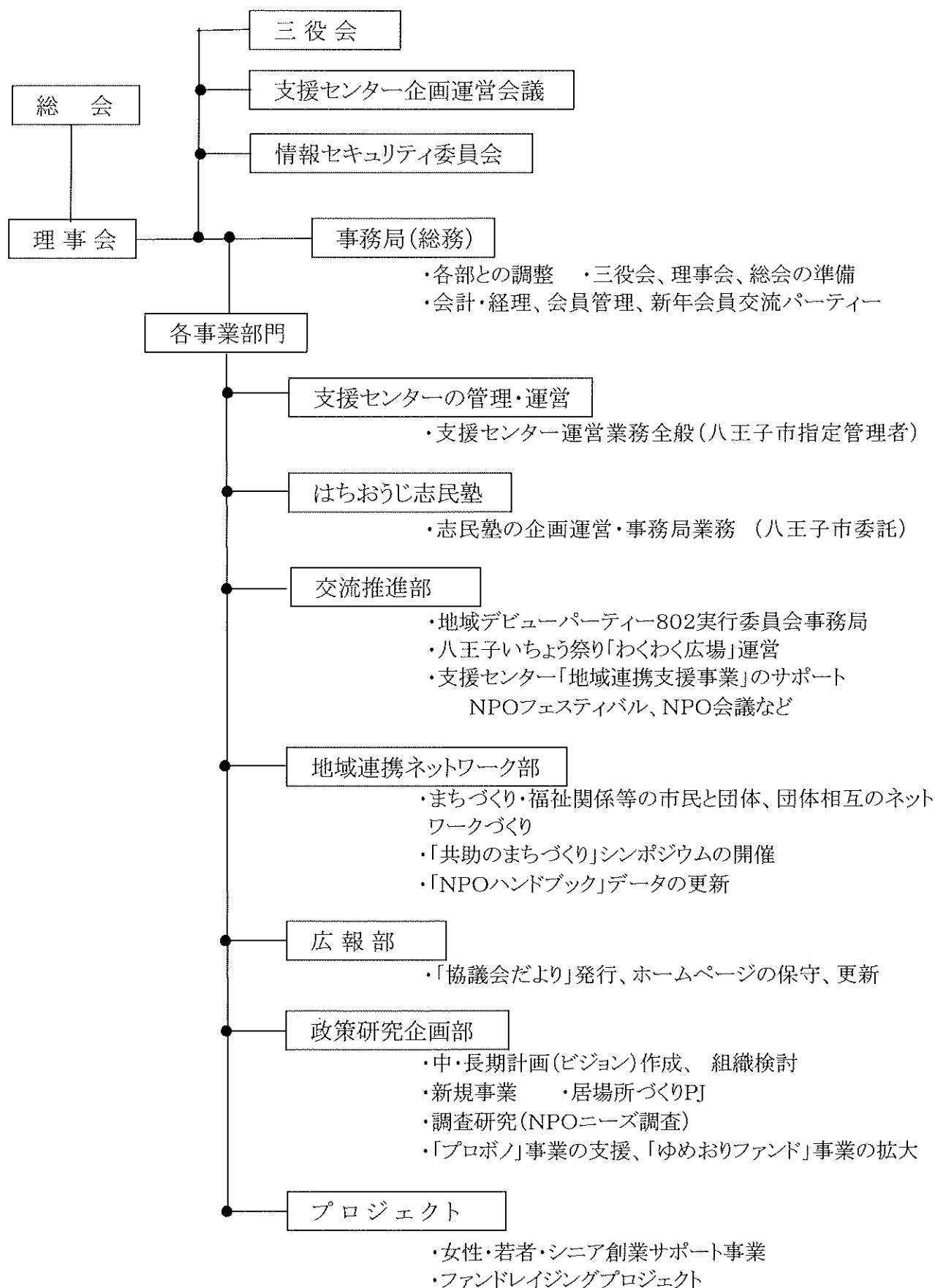
- つい日取りを忘れてセンターからお電話をいただきありがとうございました。
- ・いつも早く使用させていただいてありがとうございます。
 - ・以前にコーヒーが飲めたのですが設置は保健所の許可が必要なのでしょうか？
 - ・支援応接など全般的に非常に良好と思います。
 - ・初心者団体にもやさしくとてもありがたいです。もっと早く知りたかったです、もっと知られると競争率が上がって利用が難しくなってしまうのでしょうか……。
 - ・何もわからないのに色々気軽に教えてくださり感謝しています。
 - ・満足。
 - ・無料で場所を提供して頂けて大変助かっております、いつもありがとうございます。
 - ・自転車置き場って……。あるといいな。
 - ・スタッフの方の対応が親切でよかった。
 - ・無料で使えるのがありがたい。
 - ・気持ちよい対応ありがとうございます。挨拶が元気で気持ちが良いです。
 - ・駅に近いので集合しやすく便利に使用させていただいております。ありがとうございます。
 - ・いつも大変お世話になりありがとうございます。ご親切に対応くださり感謝しております。
 - ・いつも勉強会の場所をお借り出来てありがたいです。
 - ・今後もよろしくお願いします

付記 テキストマイニングによる分析

自由意見をテキストマイニングして可視化したところ、以下のようなワードクラウドとなった。
大きなフォントはポジティブなワードが多く、回答者が好意的な意見を記述したことがうかがえる。



八王子市民活動協議会組織



令和4年度および令和5年度 役員名簿

理事長	岡崎 理香
副理事長	内野 洋子 高倉 裕香 濱野 悦博
理事兼事務局長	村田 正文
理事	磯間 雅也 宇田川 正徳 奥村 暁 小山 梨絵 齋藤 健 鮫島 淳 爲永 行雄 力石 マルシア 千種 康民 巴 義明 中川 和郎 簀野 貞夫 廣川 英資
監事	大山 健三 藤岡 一昭
顧問	石井 利一 塩澤 迪夫 浅野 里恵子
名誉顧問	山岡 義典



わたしたちの活動を
八王子の未来へつなぎつむく



特定非営利活動法人
八王子市民活動協議会

